

金沢区自治会町内会会長 様

金沢区福祉保健課長
金沢区社会福祉協議会事務局長

「第5期金沢ささえあいプラン（地域福祉保健計画）」の素案に対する
区民意見募集の実施について（周知）

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、金沢区の福祉保健事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

金沢区では誰もが安心して健やかに住み続けられるまちを目指して、地域の皆様と関係機関、区役所等が協働しながら「金沢ささえあいプラン」を推進して参りました。

この度、令和8年度から12年度を計画期間とする「第5期金沢ささえあいプラン」の素案が完成したため、素案に対する区民意見募集を行います。

つきましては、ご意見やご提案がありましたらお寄せいただきますようお願い申し上げます。

なお、詳細については広報よこはま4月号のお知らせ欄にも掲載予定です。

1. 意見募集概要

(1) 募集期間：令和7年4月11日（金）～令和7年5月16日（金）必着

(2) 配布場所：区役所（事業企画担当、広報相談係）、区社会福祉協議会、
地域ケアプラザ、地域子育て支援拠点「とことこ」、
基幹相談支援センター「金沢地域活動ホーム りんごの森」、
地区センター、コミュニティハウス、区民活動センター、
金沢図書館

(3) 提出方法：素案に付属のハガキ、横浜市電子申請システム、電子メール、FAX

2. 送付内容

・第5期金沢ささえあいプラン素案（概要版） リーフレット

担当：金沢区役所福祉保健課事業企画担当
和泉、中島、水野
TEL：788-7824
FAX：784-4600
Email：kz-chifukuplan@city.yokohama.lg.jp

金沢区に暮らす誰もが5年後、10年後もずっと安心して健やかに住み続けられるように

あなたのご意見をお聞かせください



【募集期間】

令和7年4月11日（金）～5月16日（金）必着

第5期 金沢区地域福祉保健計画（計画期間：令和8～12年度）

金沢ささえあいプラン

～つながろう・ふみだそう・いきいきと～
（素案）

～ご意見をお待ちしています～

例えば…

◆計画の内容について

- ・地域の中で「こんな取組があったらいいな」というアイデアやご意見
- ・素案の中でこの部分が気になった（関心を持った、分かりにくい）

◆計画の普及・啓発について

- ・計画を多くの人に知っていただくためのアイデアやご意見

◆ご自身や地域の皆さんで取組めそうなこと、心がけたいこと

金沢区幸せお届け大使
ぼたんちゃん



横浜市地域福祉保健計画の
キャラクター ちふくちゃん



金沢区役所

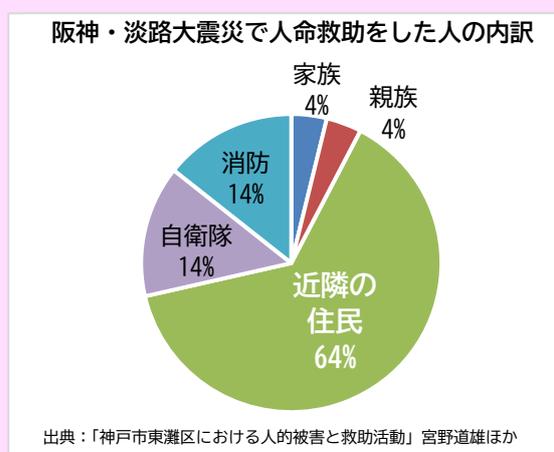
金沢区社会福祉協議会

（地域の取組等についての写真や原稿は現在調整中ですのでご了承ください。）

5年後、10年後もずっと安心して暮らしていくために…

金沢区では人口の減少や高齢化、一人暮らしの方の増加、近所付き合いの希薄化等により自分や家族だけでは解決できない課題を抱える方が今まで以上に増えることが予測されています。

5年後の「あなた」の生活を想像してみてください。急な病気や災害が起こった時に「あなた」の周りに助けてくれる人はいますか？



いざとなった時に、隣近所とのつながりがあると安心だね！



過去の災害時の経験からも、いざとなった時には隣近所とのつながりがとても大きな力を発揮することが分かっています。

しかし、普段からの付き合いや、顔見知りの関係がないと困った時に気にかかる、助けてもらうことが簡単ではないことは誰もが想像できます。

あなたを含めた金沢区で生活をしている誰もが5年後、10年後、その先も安心して住み続けられるように、

隣近所とのあいさつ や **地域の活動** に参加してみましよう。その一歩（勇気）が支えあいや暮らしの安心につながります。

区役所・区社協^{※1}・地域ケアプラザ^{※2}も、地域の皆さんと共に誰もが安心して健やかに住み続けられる支えあいのまちづくりを進めていきますので、よろしくお願いします。

※1・2については4ページをご参照ください。

目次

第1章 金沢ささえあいプランとは

- 1 計画が目指すもの……………2
- 2 金沢ささえあいプランとは……………3
- 3 計画の進め方……………3
- 4 計画の構成……………4
- 5 計画の期間……………4
- 6 第4期計画の振り返りと第5期に向けた課題…5
- 7 データで見る金沢区の状況……………6
- 8 活動者や当事者等から聞かれた声……………7
- 9 第5期計画を進める上で大切にしている視点…8

第2章 第5期区（全体）計画の内容

- 1 計画の全体像……………9
- 2 推進に向けた具体的な取組……………10
 - 推進の柱Ⅰ「つながろう」……………10
 - 推進の柱Ⅱ「ふみだそう」……………16
 - 推進の柱Ⅲ「いきいきと」……………22

第3章 第5期地区別計画の内容

- 富岡第一地区……………28
- 富岡第二地区……………
- 富岡第三地区……………
- 能見台地区……………
- 金沢シーサイドタウン地区……………
- 金沢東部地区……………
- 金沢中部地区……………
- 金沢南部地区……………
- 金沢地区……………
- 六浦東地区……………
- 六浦地区……………
- 六浦西地区……………
- 釜利谷地区……………

第4章 計画の進め方

- 1 計画の推進体制……………32
- 2 各機関の役割……………33

第5章 計画の位置付けと策定経過

- 1 金沢ささえあいプランの位置付け……………34
- 2 市計画との関係……………34
- 3 他分野計画との関係性……………35
- 4 策定経過……………36

第6章 資料集

- 1 データで見る金沢区の状況……………39
- 2 地域で活動する主な活動団体等……………45
- 3 相談・支援機関一覧……………47
- 4 区（全体）計画の取組にかかる問合せ先一覧48



◆3章の地区別計画の内容については現在、策定中のため、素案には掲載していません。

金沢区自治会町内会会長 様

金沢区福祉保健課長
金沢区社会福祉協議会事務局長

「第5期金沢ささえあいプラン（地域福祉保健計画）」の素案に対する
区民意見募集の実施について（周知）

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、金沢区の福祉保健事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

金沢区では誰もが安心して健やかに住み続けられるまちを目指して、地域の皆様と関係機関、区役所等が協働しながら「金沢ささえあいプラン」を推進して参りました。

この度、令和8年度から12年度を計画期間とする「第5期金沢ささえあいプラン」の素案が完成したため、素案に対する区民意見募集を行います。

つきましては、ご意見やご提案がありましたらお寄せいただきますようお願い申し上げます。

なお、詳細については広報よこはま4月号のお知らせ欄にも掲載予定です。

1. 意見募集概要

(1) 募集期間：令和7年4月11日（金）～令和7年5月16日（金）必着

(2) 配布場所：区役所（事業企画担当、広報相談係）、区社会福祉協議会、
地域ケアプラザ、地域子育て支援拠点「とことこ」、
基幹相談支援センター「金沢地域活動ホーム りんごの森」、
地区センター、コミュニティハウス、区民活動センター、
金沢図書館

(3) 提出方法：素案に付属のハガキ、横浜市電子申請システム、電子メール、FAX

2. 送付内容

・第5期金沢ささえあいプラン素案（概要版） リーフレット

担当：金沢区役所福祉保健課事業企画担当
和泉、中島、水野
TEL：788-7824
FAX：784-4600
Email：kz-chifukuplan@city.yokohama.lg.jp

第1章 金沢ささえあいプラン（金沢区地域福祉保健計画）とは

1 計画が目指すもの

金沢ささえあいプランは、金沢区で生活をしているすべての人が安心して健やかに住み続けられるように、あなたを含めた地域の皆さんと関係機関、区役所等が協働しながら『人と人とのつながり』を基本とした支えあいのまちづくりを目指す計画です。

【目指すのは】

誰もが安心して健やかに住み続けられる 支えあいのまちづくり



金沢ささえあいプランは、社会福祉法第107条にある地域福祉の推進に関する事項を定める「市町村地域福祉計画」に位置付けられています。詳しくは第5章（34ページ）をご覧ください。

2 金沢ささえあいプランとは

① 地域のつながりによる助けあいや支えあいを広げる計画です

安心して住み続けるためには、お互いを知り、困った時には支えあえる関係（＝近助^{きんじょ}）を築いていくことが大切です。地域のつながりがあると子育てや介護、災害時等にも大きな力を発揮します。

② 地域で生活をしているすべての人で取組を進めます

金沢ささえあいプランは一部の人だけで進めるものではありません。あいさつや声かけ、緩やかな見守り、ちょっとしたお手伝いなど自分にできるほんの少しのことが地域の助けあいや支えあいにつながっています。

また「支える側」「支えられる側」に分けるのではなく、子ども・高齢者、病気や障害に関わらず誰もがその人にできる役割を持ちながら、それぞれの立場でできる活動を協力して進めていきます。

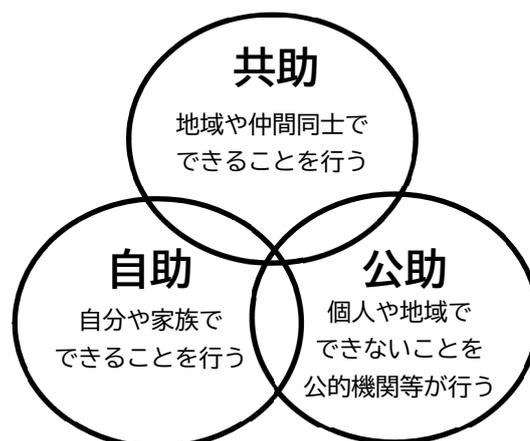
③ 皆で目指す姿を共有し、一緒に取り組むための道しるべです

様々な人が一緒に取り組むためには目指す姿や目標を明確にし、分かりやすくまとめる必要があります。

また、まとめた内容を広く伝えることにより、参加者や携わる方を増やすことができ、区役所や区社協（4ページ参照）、地域ケアプラザ（4ページ参照）等の支援機関が課題を共有することで、その解決に向けた具体的な取組や支援にもつながります。

3 計画の進め方

地域や仲間同士でお互いに助けあいながらできることを行う「共助」を中心に取組を進めますが、一人ひとりや家族でできることを行う「自助」と、「区役所・区社協・地域ケアプラザ等の公的機関が行う「公助」を関連させながら、みんなで安心して健やかに住み続けられる金沢区を目指します。



4 計画の構成

計画は地区ごとの生活課題に対して地域の方々を中心に取り組む「地区別計画」と、区の特性や課題に応じた取組や、地区別計画を支える取組、区役所・区社協・地域ケアプラザ等が連携しながら金沢区全体に共通した課題に取り組む「区（全体）計画」から構成されています。

金沢ささえあいプラン		
	区（全体）計画	地区別計画
内容	金沢区全体の取組の方向性を示し、一人ひとりから各種団体、区役所・区社協 ※1・地域ケアプラザ ※2 をはじめとした支援機関までを含んだ区全域で進めていく計画 地区別計画を支える取組も含まれる	生活の中で感じている困りごと等に対して、地域の方々为主体となり、区・区社協・地域ケアプラザが協働して策定・推進する計画



各計画の詳細は以下のページをご覧ください。

- ・区（全体）計画 第2章（9ページ）
- ・地区別計画 第3章（27ページ）

5 計画の期間

金沢ささえあいプランは5年ごとに見直しをしながら取組を進めています。

平成18年度から4期に渡って取組を進めてきており、この冊子にある第5期計画は令和8年度から12年度までの5年間を対象とする計画です。

H18～22	H23～27	H28～R2	R3～7	R8～12	R13～
第1期計画	第2期計画	第3期計画	第4期計画	第5期計画	第6期計画

※1 金沢区社会福祉協議会（区社協）とは

社会福祉法第109条にもとづき、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体です。地域の住民や団体、社会福祉関係者等が会員として参画し、連携・協力して活動を進めることが特徴です。民間としての「自主性」と広く住民や社会福祉関係者に支えられる「公共性」という2つの側面を合わせ持った組織です。

※2 地域ケアプラザとは

誰もが地域で安心して暮らせるよう、身近な福祉・保健の拠点として様々な取組を行っている横浜市独自の施設です。詳細は21ページをご覧ください。

6 第4期計画（令和3年度から7年度）の振り返りと第5期に向けた課題

第4期計画では3つの推進の柱に沿って、地域の皆さんと区役所等が取組を進めました。

計画期間の前半は新型コロナウイルス感染症の拡大により地域の行事等が休止や縮小を余儀なくされましたが、創意工夫により活動が再開される中でつながりや顔をあわせる機会の大切さが改めて認識されました。一方、地域活動の休止や縮小が地域活動の担い手の固定化・不足に拍車をかけており、これらの課題に対し第5期計画でも解決に向けた取組を進めていきます。

第4期計画の推進の柱	主な成果	今後を引き継がれる課題
(Ⅰ) 誰もがお互いを尊重し 共に支えあう地域へ	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの参加者で賑わうなど、コロナ禍を経て顔をあわせる機会やつながりの大切さが再認識されました ・障害の理解促進を目的とした動画の作成や「いわゆる8050問題」などの研修会等が開催されました ・SNSやインターネットを活用した話しあいや活動が普及しました 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な背景にある方へのつながりや交流などを通じた理解の促進 ・複合的な課題を抱える世帯に対する地域・支援機関・部署間の連携強化
(Ⅱ) 誰もが活躍できる場や きっかけが広がる	<ul style="list-style-type: none"> ・興味があること等を通じて活動に参加するための多様なきっかけが創出されました ・生活支援に関するボランティア団体交流会が開催され、団体同士の横のつながりが生まれました 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会町内会活動の担い手不足や高齢化、お一人でいくつもの役割を兼ねるなど特定の方への負担の軽減 ・個人・団体・地域の相互理解の促進
(Ⅲ) みんなで健康づくりに 取り組み いきいきとしたまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅や身近な公園等で健康づくりに取り組むための媒体が作成されたほか、各種講座も開催されました ・気軽に楽しむことができるスポーツ（ポッチャ等）の体験の場が広がりました 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のサロン等への健康づくりの要素の拡充 ・多世代で誰もが楽しめる健康づくりの推進



▲ 「いわゆる8050問題」等に関する研修会



▲ ボランティア団体の交流会



▲ 気軽に楽しむことができるスポーツ（ポッチャ大会の様子）

7 データで見る金沢区の状況

日本各地で高齢者や単身世帯が増加していますが、金沢区も例外ではなく、市内でも高齢化の先頭に位置しています。この状況が続くことで、介護などの困りごとを家族や親族内で支えることが難しくなると想定されます。できる限り住み慣れた地域で暮らし、いざという時に助けあいを含む必要な支援を受けられるようにするため、日頃からの健康づくりや元気なうちから隣近所とのつながりを持つこと、困った時の相談先等を調べておくことの重要性が増しています。

詳しい統計データは第6章（39ページ）もご覧ください。



項目（単位）		10年前との比較		ポイント
		2013-2014年	2023-2024年	
人口（人）		205,328	195,348	2040年には約16万人にまで減少し、特に15～64歳の減少率が大きい見込みです
単身世帯数（世帯）		30,376	38,222	約10年で約8,000世帯増えています
出生数（人）		1,449	948	就労している女性が増え、出産年齢も高くなっています
高齢化率（%）		21.9	30.3	高齢化率は市内で2番目に高いですが、介護が必要な高齢者数は市内で9位と、元気な高齢者が多い特徴があります
要介護認定者数（人）		8,288	10,913	
障害者手帳等 交付数 （人）	身体障害	5,582	5,683	心の病を抱えて通院されている方が増えています
	知的障害	1,274	1,876	
	精神障害	1,219	1,233	
	自立支援医療 （精神通院医療）	2,637	3,900	
外国につながる方 （人）		2,272	3,357	約10年で1,000人以上増えています
自治会加入率（%）		83.8	77.4	加入率は減少しているものの、市内では第1位でつながりの強さが金沢区の特徴です
地域ケアプラザでの ボランティア活動数 （回）		11,183	5,724	コロナ禍以降、減少しているものの、令和4年度も活動数は市内で1位と活動が盛んです

出典）金沢区統計要覧
統計情報ポータル



▲ 統計要覧はこちらからご覧になれます



今は元気でも急なけがや災害などでいつ助けが必要になるか分かりません。
そんな時に備えて、隣近所での助けあい
（=近助）があると安心だね。

8 活動者や当事者等から聞かれた声

① 地域の会議等で聞かれた主な意見

- ・まずはあいさつ、普段のコミュニケーションがつながりの基本
- ・子どもが楽しめる行事は多くの参加者で盛り上がり活気がある
- ・地域活動の担い手不足と高齢化が課題なので、新たな担い手（若い世代）の発掘が必要
- ・活動の「楽しさ」の発信や「楽しい」経験をしてもらえることも重要

② 当事者・支援者ヒアリング（38 ページ参照）で聞かれた主な意見

- ・同じ境遇の仲間がいると安心、理解しあえる、励まされる
- ・何かあったら相談できる人・相談先があると安心
- ・言葉が通じなくても相手を思う気持ちがあれば通じあえる
- ・今のままで大丈夫と受け入れてもらえて有難かった

③ 子どもから聞かれた主な意見

- ・自分たちが住んでいる地域をより良くするためには、一人ひとりが今の地域について知り、どうすればいいか考えることが大切
- ・地域に住んでいる人が過ごしやすいように自分ができることがあればやろうと思った
- ・災害時など、いざという時に助けあえ、安心して暮らせる地域にするためには、あいさつや、ちょっとした助けあいでも地域の人たちとコミュニケーションを取り、「地域の輪」をつくる必要がある
- ・何となく参加していた祭りにも地域を活発にしようという思いが込められていることに驚いた
- ・常に地域のことを考えてそれを実行している町内会の人たちの大変さを理解できた
- ・人によって困る所は違うから、多くの視点から物事を考えてみようと思った

写真
(調整中)

区内の子ども達に協力してもらい、
イベントや学校で声を聞きました！

写真
(調整中)



9 第5期計画を進める上で大切にしている視点

(1) 「つながり」による安心して暮らせる地域づくり

これから先も住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、日頃から「顔見知り」となり、困った時に助けあえる関係（＝近助^{きんじよ}）を作ることが大切です。顔見知りの第一歩である隣近所でのあいさつなどをきっかけとした「つながり」を広げていきます。

(2) 地域活動に「ふみだせる」きっかけづくり

課題となっている地域活動の担い手不足や高齢化について、これまで参加者だった方が楽しみながら役割をもって活躍できるような工夫等により、活動に「ふみだせる」きっかけづくりを進めていきます。

(3) 将来を見据えて自分らしく「いきいき」と健康づくり

年齢や病気の有無に関わらず、いつまでも自分らしく「いきいき」とした生活を送ることができるよう、個人でできる取組やみんなで楽しみながら健康づくりに取り組める機会を地域の中に増やしていきます。

(4) 情報の発信

困りごとのある人が適切な支援につながるための相談先の情報や、地域活動に携わる方を増やすための地域の行事や活動の情報など、必要な情報が誰のもとにも届くように、年代等に応じた効果的な情報発信を進めていきます。

(5) 連携の促進

金沢区で生活・活動している多くの人や団体が連携することにより大きな力を発揮します。お互いの考え方や気持ちの理解をとおして支援や活動を広げていきます。

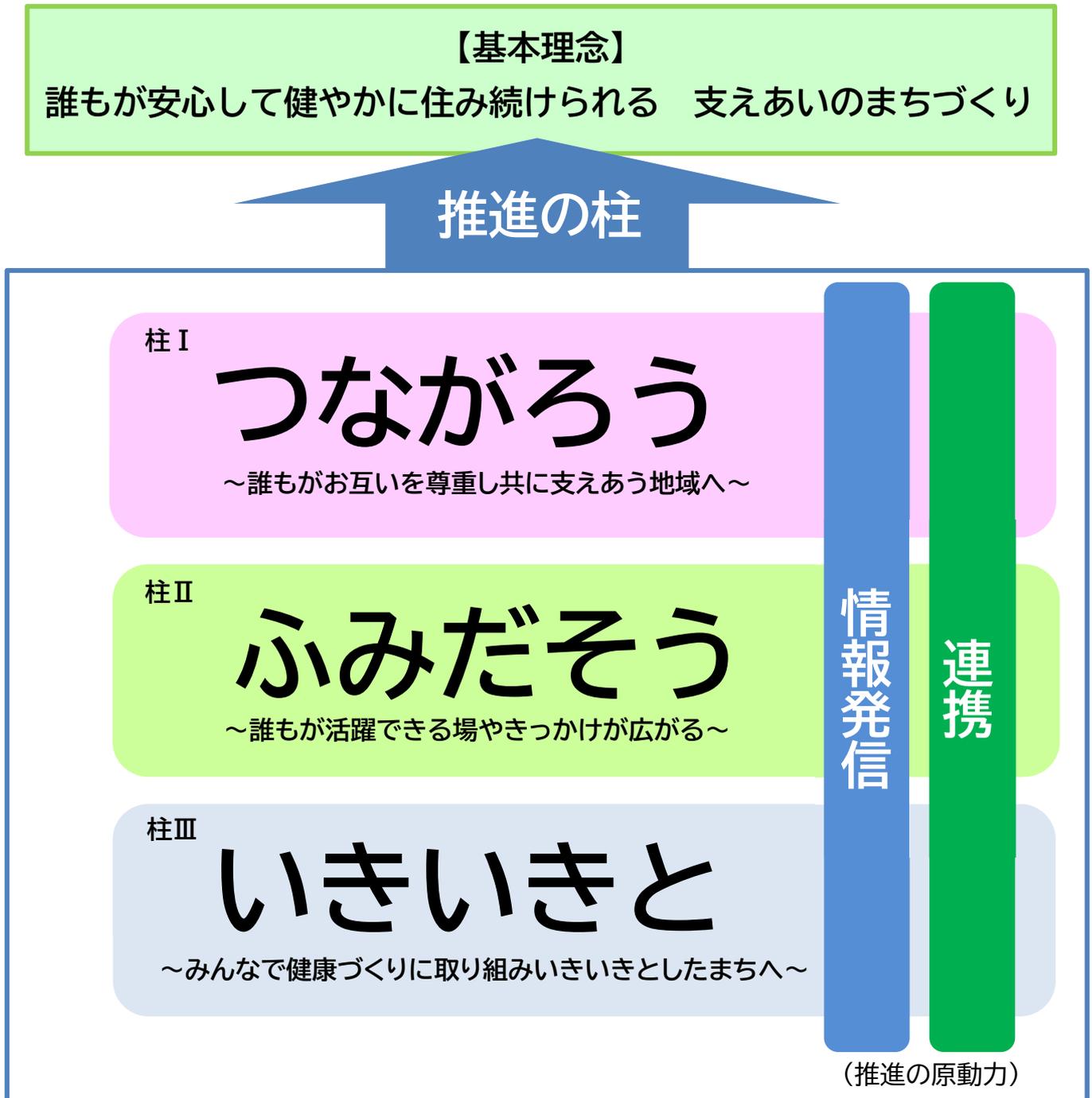
第5期計画の策定に向けては、金沢区の置かれている状況を踏まえてこれまで積み重ねてきた「つながり」や「ささえあい」の活動がさらに発展するよう取組を進めていきます。



第2章 第5期区（全体）計画の内容

基本理念を達成するために、3つの推進の柱を設定しました。また、取組にあたっては、「情報発信」と「連携」を意識しながら進めていきます。

1 計画の全体像



次のページからは、推進の柱ごとに「こんな金沢区になったらいいな」という目指すまちの姿と、取組の例を紹介しています。



2 推進に向けた具体的な取組

①推進の柱 I

つながろう

～誰もがお互いを尊重し共に支えあう地域へ～

こんな金沢区になったらいいな

- (1) 様々な人が交流できる機会が増え、近所でのあいさつ・声かけによるつながりが広がっている
- (2) あらゆる年齢、性別、障害、国籍等、様々な立場・背景にある方とつながりや交流を通じてお互いを知り、理解や認めあいが広がっている
- (3) 日常生活の中でお互いを気かけあい、多様な見守りやささえあいの輪が広がっている

自分や家族で取り組めること

- ・隣近所の方への「あいさつ」等をとおして、顔見知りをつくる
- ・身近な地域で行われている活動について知り、行事や活動に参加する
- ・一人ひとりの違いや個性を理解して、お互いの存在を認めあう

取組1

地域が協力して取り組めること

- ・誰もが参加しやすい行事や交流の場を開催する
- ・困った時はお互い様の気持ちで、ちょっとした困りごとの手伝いをする
- ・お互いを気かけあい、近所の方の「様子が変わった」等に気づいたら身近な相談機関（47 ページ参照）に相談する

取組2

取組3

区役所・区社協・地域ケアプラザの取組

- ・あらゆる方が理解され、認めあえる地域になるよう啓発や研修を行います
- ・地域の活動者と施設や企業等が連携しながら、身近な地域の見守り・助けあいの仕組みづくりを進めます
- ・子どもの頃から地域に関心を持ち、参加できる機会を広げていきます
- ・困りごとを抱えている方の相談を受け止め、相談の内容に応じて部署を超えて対応できるネットワークや支援体制を構築していきます

取組3

取組4

取組5

「あなた」に
できそうなことはあるかな？

できることから
大丈夫！



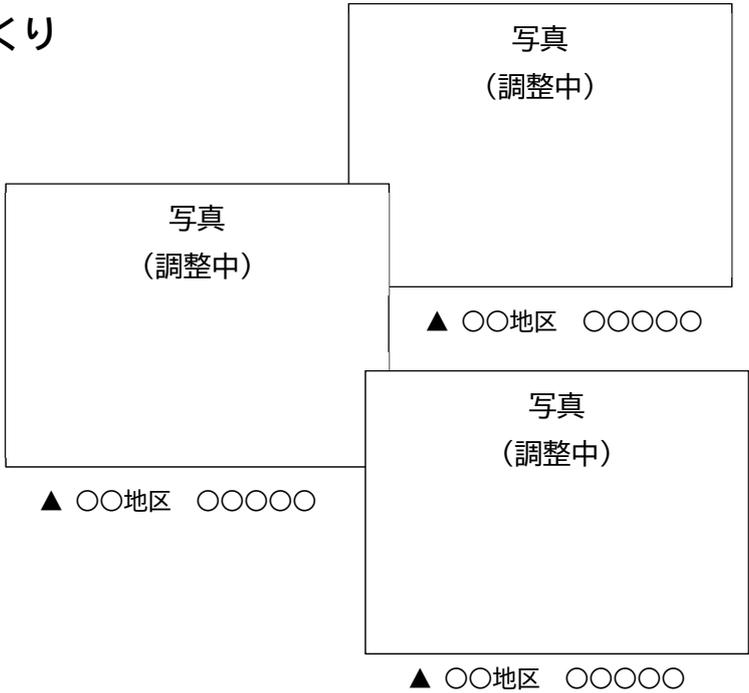


取組1 隣近所とのつながりづくり

いざという時に相談をしたり、助けあうためには日頃からの隣近所の付き合いがとても大切です。

そのため、住民同士の顔見知りとなるきっかけや、つながりによる安心した地域づくりを目指してあいさつ運動が行われています。

また、登下校時や通勤時等のあいさつ運動が推奨されている地区もあり、地域での見守りや連帯感にもつながっています。

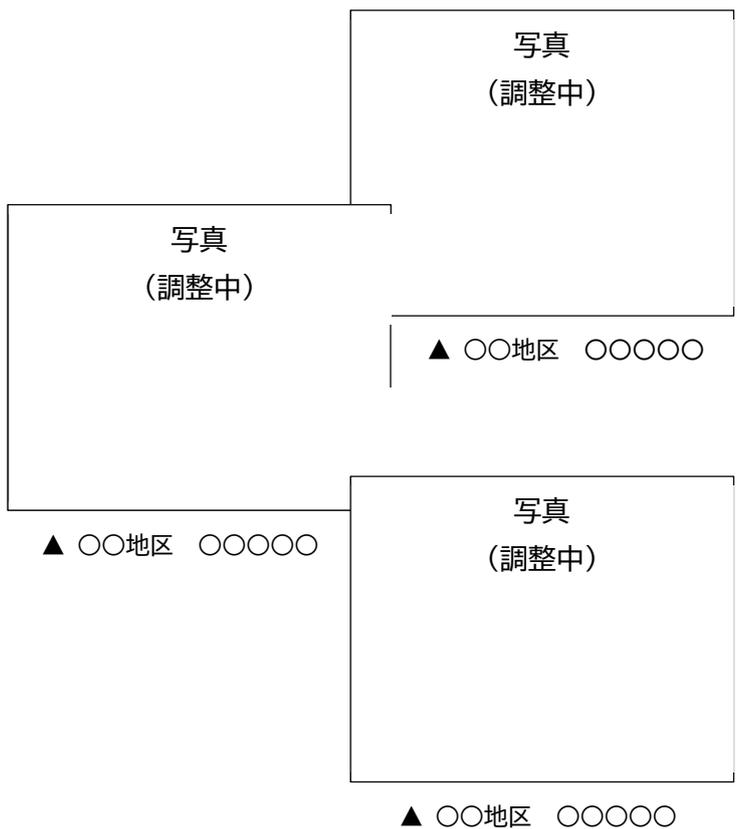


取組2 多世代が交流できる場づくり

町内会館などの身近な場所で行われている子育てや高齢者等の対象者別のサロンのほかにも、誰もが参加できるサロン等も行われています。

また、夏祭りや運動会、ウォーキング等が区内の各地域で行われていますが、自治会対抗戦、事前申込不要、地域の子ども達による演奏やダンス等の披露、障害のある方等が製作された製品の販売等、各地区が工夫をこらし、顔見知りから一歩進んだ交流のきっかけとなっています。

ほかにも常設の居場所を通じた交流（12ページ参照）や、多様な主体によるこども食堂・地域食堂など地域における居場所づくりが広がっています。



取組3

身近な地域における多様な見守り

子どもの登下校の安全の確保や犯罪等を防ぐために、各地区で多様な見守りが行われています。

例えば、登下校の時間に合わせて洗濯を干したり、庭や玄関周りを掃除しながらの見守りや、パトロールの腕章を付けて犬の散歩を行うなどの取組があります。

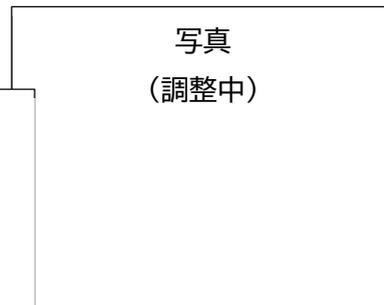
そのほかにも、民生委員・児童委員（45 ページ参照）による一人暮らし高齢者の見守り訪問や、新聞配達や郵送業等の訪問や外回りのある企業と連携した見守りも始まっています。



▲ ○○地区 ○○○○



▲ 民生委員による訪問の様子



▲ ○○地区 ○○○○○



▲ ○○○○○

地域による皆さんの居場所「つながりステーション」

コミュニティサロンは、いつでも、誰でもふらっと立ち寄れる「地域による皆さんの居場所」です。

金沢区では、「ヨコハマ市民まち普請事業」や「空き家等を活用した『茶の間』支援事業」等で開設した10か所のサロンと区役所が協働契約を締結し、「つながりステーション」という連絡会を結成しています。

それぞれのサロンで、多くのボランティアにより、多世代が交流する食事会、子育て支援、認知症の方々の支援など地域活動を展開しています。

また、定期的に連絡会を開催してサロン間で情報交換し、持続可能なサロン運営を目指しているほか、いきいきフェスタにつながりステーションとして出店し、区民への周知を図るとともに、サロン同士のつながりを強めています。



▲ 連絡会の様子



▲ いきいきフェスタでの事業 PR の様子



▲ 各サロンを紹介したガイドブック「かな・サロ」

問合せ先「区民活動支援担当」48 ページ参照

健やか子育て連絡会

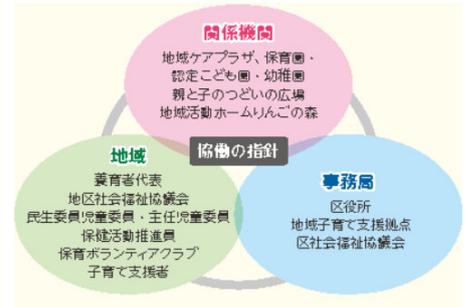
平成17年度に開始した、養育者・地域・関係機関・行政からつくる金沢区の子育て支援ネットワークです。連絡会では「金沢区子育て支援の協働の指針」をもとにそれぞれの役割を確認しながら、顔の見える関係・連携を深め、子育ての課題を共有し、子育てしやすい地域づくりを進めています。情報の集約と発信、多世代交流・つながりづくり、つながりを深める等、毎回テーマを決めて、全体会や地区別交流会で意見交換・検討を行っています。メンバーが開催している交流の場が子育て世代のつながりづくりのきっかけとなっています。



▲ 健やか子育て連絡会 全体会



▲ いきいきフェスタ



▲ 協働の指針

問合せ先「こども家庭支援課」48 ページ参照

取組3

みんながつながる憩いの場 東谷津のグランドマーケット

写真
(調整中)

▲ 写真の説明

東谷津エリアは、「買い物もできて交流ができる場がほしい」といった地域の声と「入居者が買い物できる機会をつくりたい」「施設の地域貢献を行いたい」といった高齢者施設の声をきっかけにマーケットを開催しています。買い物が便利になっただけではなく、買い物場所が地域住民及び施設の交流や見守りの場所にもなっていて、地域のコミュニティを育てています。

問合せ先「高齢者支援担当」48 ページ参照

自立をサポートします



▲ 制度に関するリーフレット（左）と相談の様子（右）

「税金や保険料が払えない」「家賃が払えなくなりそう」「仕事がなかなか見つからない」「やりくりがうまくいかない」等の経済的な不安や心配を抱えている方はいませんか？

区役所には相談できる窓口があります。一人ひとりに寄り添い、一緒に考えながらサポートしています。生活にお困りの方がいらっしゃいましたら、ご相談ください。

問合せ先「生活支援課」48 ページ参照

取組4

中学生向けワークシートで 地域を考える



▲ 地域活動者を招いてインタビュー（西柴中学校）

家庭科や総合学習等の授業で金沢ささえあいプランのワークシートを活用し、中学生が自分の住んでいる地域について学び、誰もが暮らしやすい地域になるために自分にできることを考える授業が行われています。授業後には地域への理解が深まりボランティアに参加した生徒もいます。

問合せ先「事業企画担当」48 ページ参照

外国につながる人の支援 金沢国際交流ラウンジ

写真等
(調整中)

▲ 写真の説明

区役所2階にある「金沢国際交流ラウンジ」では、外国籍及び外国につながる方々の日常生活の相談を受けているほか、大人・子ども向けに日本語学習教室を開催しています。

また、様々な国の人や文化を身近に感じてもらえるイベントも実施しています。年1回開催の「金沢ラウンジフェスティバル」は毎年大盛況です。

問合せ先「金沢国際交流ラウンジ」47 ページ参照

取組5

分野を超えた多職種ネットワーク構築 区レベル地域ケア会議・セーフティネット会議



▲ 区レベル地域ケア会議・セーフティネット会議の様子

いわゆる8050問題や生活困窮をはじめとした、複合・複雑化する課題が増加しています。そこで、「いわゆる8050問題だけではない複合・複雑化世帯の課題への対応について地域連携を含めて考える」をテーマに医師、看護師、地域包括支援センター、ハローワーク等の関係機関の支援者が集まり、意見交換を行いました。会議を通じ、分野を超えた多職種ネットワーク構築をしています。

問合せ先 48 ページ参照

(地域ケア会議について)「高齢者支援担当」
(セーフティネット会議について)「生活支援課」

地域と共に育み、みまもる 青少年地域活動拠点カナカツ



▲ 外観(左)とフロア案内(中央:1階、右:2階)

すずらん通り商店街にある「カナカツ」は、中高生世代が気軽に集い、仲間とゲームやおしゃべり、宿題をするなど、それぞれの過ごし方で楽しめる居場所です。中高生世代が中心となり、小学生や多世代で楽しめる交流イベントを企画・実施をしたり、地域の皆さんの協力を得てボランティアを通じた社会体験を行ったり、思春期を迎えている青少年が、交流の中でスタッフに悩みごとを打ち明けたりすることができる場所にもなっています。

問合せ先「カナカツ」374 - 4035



障害の理解・普及啓発活動について

障害のある方が地域で安心して生活するために「人と人をつなぎ、地域の課題を地域で共有し、解決に向けて地域で協働する場」が障害者地域自立支援協議会です。障害福祉に関する支援者に限らず、保健、医療、教育、就労、当事者、地域住民など、障害のある方の地域生活に関わる多様な方々が参画しています。各部会を設け、課題解決の方法やよりよい連携体制について話しあい、地域共生社会の実現に向けた取組を進めています。

金沢区では、障害者地域自立支援協議会の啓発部会を中心に障害の理解・普及啓発の取組を行っています。



問合せ先「障害者支援担当」48 ページ参照

歩みを止めずに ～誰もが地域で自分らしく暮らしたい～

区内の障害者手帳等所持者のデータ（40 ページ参照）から、身体・知的・精神福祉に係る手帳を持っている方、自立支援医療を受給されている方が増加傾向にあることが分かります。そのほか、事故や病気さらには加齢に伴う機能の衰えなどから身体的な障害や、生活上の悩み事や親しい人との離別などから精神的な障害が生じることもあるなど、障害は身近であり自分自身にも関わりのある事と考えられます。

金沢区では、「障害者を取り巻く社会側に壁があることにより、日常生活や社会生活を送ることに支障がある」と捉える社会モデルの考えに基づき、社会の障害や障壁の解消に向けて取組を進めています。近年では、小柴自然公園にインクルーシブ遊具広場の開設や、学校での福祉教育実践などの取組が始まっています。

障害のある方もない方も、誰もが認められ自分らしくいきいきと地域で暮らしたいという願いがあります。その実現に向けて、私たちは障害への理解を深めるとともに、一人ひとりが、できることを、できるときに、できる範囲で、日々積み上げていくことが大切です。

これまで大切にしてきた思いとともに、障害のある方、その家族、支援者、地域住民、区役所とが協力しあって、一緒に金沢区ならではの地域共生社会の実現を進めましょう。これまで続けてきた協働の歩みを止めずに進めていくことが求められている今、しっかりと取り組んでいきます。



▲ 講演会の様子



▲ 福祉教育の様子（西富岡小学校）

ふみだそう

～誰もが活躍できる場やきっかけが広がる～

こんな金沢区になったらいいな

- (1) 地域活動やボランティア活動に参加する人が増えている
- (2) 個人・団体・地域が、お互いの立場や考え方、気持ちを理解しあうことで活動が広がっている
- (3) 多くの人がそれぞれにできることに取り組み、活動を支援する仕組みを活用することで活動しやすい地域になっている

自分や家族で取り組めること

- ・空いている時間を活用し、自分にできそうなことをやってみる **取組1**
- ・知り合いに誘われたり、お願いをされたら、一緒に手伝いをする
- ・活動に参加してみて良かったことや感想を、隣近所や親しい人に伝える

地域が協力して取り組めること

- ・自分達の活動や、活動することの楽しさについて積極的に発信する
- ・新しく活動に参加された方を温かく受け入れる
- ・参加者にも簡単な役割を担ってもらうなどの工夫をし、活動が一部の方たちの負担にならないように役割分担を意識して進める **取組2**

区役所・区社協・地域ケアプラザの取組

- ・得意なこと・興味があることをきっかけとした地域活動につながるための講座の開催やコーディネートを行います **取組1**
- ・活動団体や担い手が活動を継続できるように相談に応じるほか、助成金の交付や交流会の開催等の支援を行います **取組3**
- ・広報紙や SNS を通じて活動の周知に取り組むと共に新たな担い手の発掘を進めます

「あなた」に
できそうなことはあるかな？

ボランティアに限らず
趣味や特技も生かして
ふみだしてみよう！
きっかけは身近に沢山
あるよ！





取組1

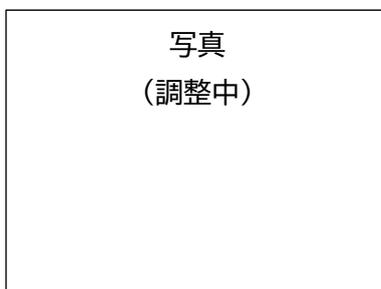
多様な活動のきっかけづくり

地域ケアプラザでも身近な地域活動をはじめのきっかけとなる各種講座やボランティアの募集が行われています。

また活動の担い手の不足が課題となっている中で、地域活動に参加された方に次の行事を手伝っていただくようお願いしたり、子育てサロンに来ていた子ども達が就学後にジュニアボランティアとして、子育てイベントを盛り上げてくれるといった参加者から担い手につながる工夫が始まっています。



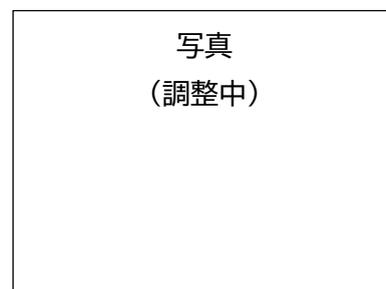
▲ 親子向け講座におけるボランティア (富岡東地域ケアプラザ)



▲ ○○地区 ○○○○



▲ 花植えボランティア「はまみらい」 (泥亀地域ケアプラザ)



▲ ○○地区 ○○○○

取組2

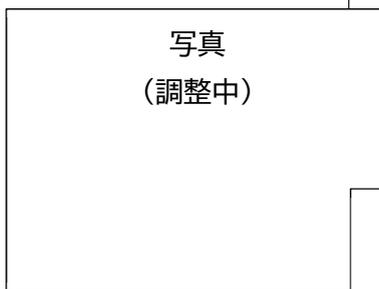
みんなで役割分担

活動を楽しく続けるためには一人の人に負担が集中しないようにみんなで役割分担を進めることが重要です。

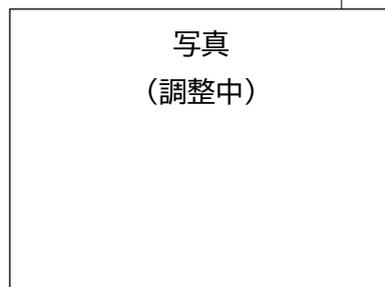
空いている時間に無理なく活動ができるよう時間や頻度を予め伝えた上でボランティアを募ったことで協力者が増えた所もあります。

また、イベントの周知チラシの作成を絵が得意な中学生に依頼をする、広報についてはSNSを使い慣れている世代にお願いするといった役割分担が進められています。

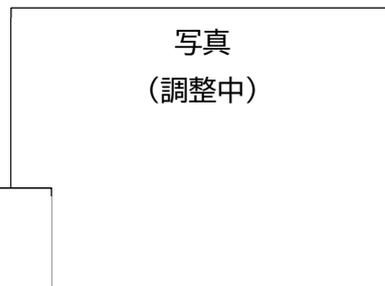
そのほかにも、お祭り等で人手を要する調理については近隣の飲食店に出店を依頼する、不足する神輿の担ぎ手を区内の大学生に依頼するといった工夫も広がりを見せています。



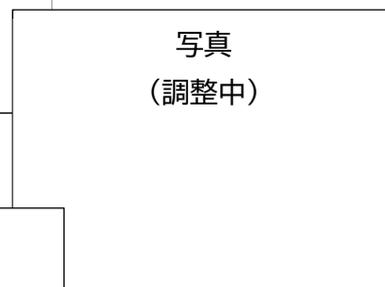
▲ ○○地区 ○○○○



▲ ○○地区 ○○○○



▲ ○○地区 ○○○○



▲ ○○地区 ○○○○

地域の企業も活動を進めています！ ～Aozora Factoryの取組～



区内企業も地域の一員として、つながりづくりや街づくりを進めるための様々な取組を実施しています。

取組の一つであるAozora Factoryは、LINKAI 横浜金沢（金沢臨海部産業団地）のものづくりを体験できる親子向けワークショップイベントです。

LINKAI 横浜金沢をもっと盛り上げるために発足したNPO法人Aozora Factoryを中心に、産（企業）学（関東学院大学・横浜市立大学）官（金沢区）が力を合わせて開催しています。合言葉は「青空工場で会いましょう！」



▲ 運営に携わる企業・大学生



▲ イベントの様子

問合せ先「区政推進課」48 ページ参照

金沢区民活動センター “ゆめかもん”

写真
(調整中)

▲ 写真の説明

金沢区民活動センター“ゆめかもん”は、区役所の2階にあります。

ゆめかもんは、自分の経験や特技を役立てたい、地域のために何かやりたい、という方々をサポートしています。また、自治会町内会等のイベント・講座の相談やコーディネートをお手伝いしています。

ゆめかもんへ、ぜひご相談ください。



問合せ先「ゆめかもん」47 ページ参照

地域の公園を花と緑で彩ります 公園愛護会



▲ 活動の様子

公園の地元自治会等、地域の皆さんを中心にボランティア団体を結成し、地域の公園として愛着を持ち地域で公園を管理できるよう、主として清掃・除草・花壇のかん水・利用マナーの指導等を行う団体で現在188団体あります。

性別・年代を問わず参加していただけます。興味があれば未経験でも構いませんので一緒に活動してみませんか。



問合せ先「土木事務所」48 ページ参照

取組3

大学と地域が連携した取組

金沢区では、関東学院大学、横浜市立大学と協定を締結し、大学の専門的な知識や学生の行動力、斬新で柔軟な発想を生かしたまちづくり「キャンパスタウン金沢」を進めています。

その取組の一つとして、地域の活性化や地域課題の解決を目的とした活動に「キャンパスタウン金沢サポート事業補助金」を交付しています。5月に募集を始め、7月の審査会で交付団体を決定し、3月に成果を発表する地域づくり金沢フォーラムを開催しています。



▲ 胸骨圧迫（心臓マッサージ）やAEDの使い方を体験する参加者たち



▲ 丸太アイスづくりワークショップの様子

▶ 地域づくり金沢フォーラム2024の様子



問合せ先「地域力推進担当」48 ページ参照

取組3

ふみだそう、はじめの一步！

～やりたい気持ちや地域デビューの応援をしています～

「地域活動に参加してみたいがどうしてもいいかわからない」「地域活動に参加するきっかけがない」といった声が多く聞かれます。区社協では、寄せられる相談内容にあわせて、一人ひとりの思いが具体的な活動に結び付けられるよう情報提供やコーディネートを行っています。

また、地域や関係機関と連携・協力しながら、様々な事業を実施し、場の提供や周知・啓発を通じて活動参加に向けた一歩を後押ししています。

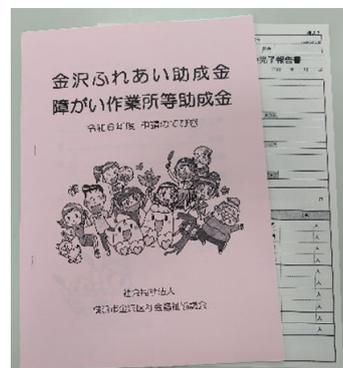
【主な事業】ボランティアセンター、移動情報センター、福祉教育、地域デビューのための講座・研修の開催、金沢ふれあい助成金、食支援など



▲ ボランティアサロン



▲ 大学生向けボランティア実践講座



▲ 金沢ふれあい助成金冊子



何か始めてみたいと思った方はこちらをチェック！

金沢区社協広報キャラクター
福にゃん



問合せ先「区社協」48 ページ参照



活動に参加したきっかけ

- ・近所の方に誘われたから
- ・役員が順番で回って来たから

活動してみて良かったこと

- ・意外と楽しかった
- ・友達や知りあいができる
- ・子ども達とのふれあいが嬉しい
- ・自分の居場所ができた
- ・健康的になり、病気をしなくなった

これから活動される方・悩んでいる方へのメッセージ

- ・誘われたらまずは参加してみたい
- ・楽しみながら参加したい、そして時間に余裕ができたなら
できることを少しで良いので手伝ってくれたら嬉しい

写真
(調整中)



▲ 文庫小学校見守り隊の皆様

上手く連携をするコツ

- 自分達の活動の発信をしましょう
- 相手の活動を知りましょう
- 相手の考え方や活動を尊重しましょう
- できる限り、相手の活動と重ならない日に設定しましょう
- 一緒にできそうなことがあれば、まずは一歩踏み出してみましょう



地域ケアプラザってどんな所？

地域ケアプラザは、地域の誰もが利用できる横浜市独自の施設です。小さな子どもから高齢者まで、障害の有無に関わらず誰もが安心して暮らせるよう、身近な生活の相談窓口であるとともに、より良い地域づくりに向けた取組を行っています。また、福祉保健活動団体への部屋の貸出やボランティア活動の支援も行っています。



▲ 障害者余暇支援事業（並木地域ケアプラザ）
「青年学級 Hello!料理クラブ」



▲ セラピー犬とのふれあい（釜利谷地域ケアプラザ）
「今日は犬の日」



▲ 誰もが楽しめる交流の場（西金沢地域ケアプラザ）
「だれでもカレー・だれでもポッチャ」



▲ 地域の誰もが気軽に立ち寄れる場（西柴地域ケアプラザ）
「みなと茶房」



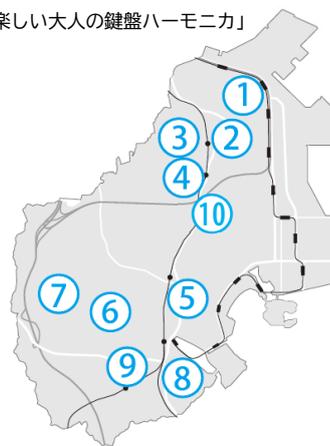
▲ 障害者余暇支援事業（柳町地域ケアプラザ）
「おひさま広場」



▲ 肺活量の訓練や認知症予防（富岡地域ケアプラザ）
「楽しい大人の鍵盤ハーモニカ」

金沢区内には、①並木、②富岡東、③富岡、④能見台、⑤泥亀、⑥釜利谷、⑦西金沢、⑧柳町、⑨六浦、⑩西柴の10か所の地域ケアプラザがあります。

問合せ先：「地域ケアプラザ」48ページ参照



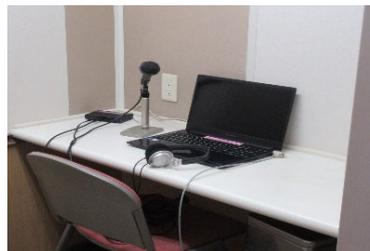
福祉保健活動拠点ってどんな所？

福祉保健活動拠点は、区民の自主的な福祉活動、保健活動等のための場の提供及びボランティアの育成・相談・支援等を行っています。

多目的研修室、団体交流室、対面朗読室・編集室、点字製作室、録音室のほか地域ケアプラザとの共有スペースであるボランティアコーナー等があり、区内で福祉保健活動を行っている団体等が利用できます。



▲ 団体交流室



▲ 録音室

問合せ先：「区社協」48ページ参照

いきいきと

～みんなで健康づくりに取り組みいきいきとしたまちへ～

こんな金沢区になったらいいな

- (1) 様々な媒体や機会を通じて健康づくりに役立つ情報が提供されている
- (2) 誰もが自分らしい生活を送るために自分ができることに取り組んでいる
- (3) 身近な地域の中で、つながりを通じた健康づくりの場や機会が充実している

自分や家族で取り組めること

- ・ 定期的な外出や、他者との交流の機会を持つ
- ・ 自分や家族の健康に関心を持ち、定期的な健診の受診や、運動や食生活の維持・改善などの健康づくりに取り組む
- ・ 相談先を把握し、困った時は一人で悩まずに身近な人や相談機関に相談する（相談先は 47 ページ参照）

取組 1

地域が協力して取り組めること

- ・ 身近な場所で行われているサロン等に健康づくりの要素を加える
- ・ 交流をとおしてみんなで楽しめる健康づくりの機会を設ける
- ・ グループで活動する際は、一部の人に負担が偏らないように役割分担を進める

取組 2

区役所・区社協・地域ケアプラザの取組

- ・ 地域の活動団体や担い手と連携して、身近な地域での健康づくり活動を広げます
- ・ 地域の健康づくり活動が継続できるよう、運営の後方支援を行います
- ・ 認知症等になってもその人らしい生活が送れるように意思決定支援ツールの普及啓発を進めます

取組 4

「あなた」に
できそうなことはあるかな？

楽しむこと、続けやすいことが大切だね！





取組1 身近な場所での健康づくり

地域の公園や町内会館等でラジオ体操や健康体操、グラウンドゴルフ等の取組が行われていますが、身近な場所での活動が継続の秘訣となっています。

また、金沢区の豊かな自然を生かしたウォーキング大会や、芋掘り・みかん狩りも行われており、金沢区の新たな魅力や素敵な場所を発見する機会にもなっています。

写真
(調整中)

写真
(調整中)

▲ ○○地区 ○○○○
▲ ○○地区 ○○○○

写真
(調整中)

写真
(調整中)

▲ ○○地区 ○○○○
▲ ○○地区 ○○○○

取組2 交流をとおしてみんなで健康づくり

世代を超えてみんなで楽しめるスポーツが区内でも広まってきています。

特に「ボッチャ」は子どもから高齢者までの誰もが気軽に楽しめるスポーツとして、地区内のサロンやイベント時にも体験や練習を行う機会が増えています。また、日頃の練習の成果を発揮する機会として大会が開催されている地区もあり、応援にも熱が入り盛り上がりを見せています。

そのほか、スポーツを通じた障害児との交流事業も始まっています。

写真
(調整中)

写真
(調整中)

▲ ○○地区 ○○○○
▲ ○○地区 ○○○○

写真
(調整中)

写真
(調整中)

▲ ○○地区 ○○○○
▲ ○○地区 ○○○○

区内の団体と連携した生涯にわたる健康づくり

10～11月を健康づくり月間として、健康寿命の延伸を目標に、区医師会や歯科医師会、薬剤師会と連携し、相談や医療講演会を開催しています。いきいきフェスタでは、区内の健康づくりに関連する団体と共に健康づくり月間のブースを出展し、区民の皆様に広く健康に関する取組を知っていただくための啓発を行っています。



▲ 三師会による医療講演会

また、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう医療・介護の関係団体が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制の構築に取り組んでいます。常日頃から薬剤師会やケアマネ倶楽部等の関係団体が、職域を超えた研修会等を通じスキルアップにつとめており、区民の方が自分らしい生活を送るための下支えをしています。



▲ ACP(人生会議)研修の様子

問合せ先 健康づくり月間について「健康づくり係」48ページ参照
医療・介護連携について「高齢者支援担当」48ページ参照

調整枠

情報をどう届ける！？



令和5年度に実施された金沢区区民意識調査でも、情報については広報よこはまや回覧板等の紙媒体から収集している方が多かったです。一方、SNSの普及によりターゲット層に応じた情報発信も進んでいます。またICTを活用することで、自治会町内会の負担軽減の取組も進められています。

調整中

(連合単位の取組を掲載予定)

第3章 第5期地区別計画の内容

地区別計画は、生活の中での困りごとや地域の課題に対して、地域の方々を中心に取り組む計画です。区内13の連合自治会町内会のエリアで地区別計画を策定し取組が進められています。

地区別計画は現在、策定中です。令和8年3月発行予定の第5期金沢ささえあいプラン冊子には、13地区の地区別計画を掲載予定です。

<各地区の概況>

地区名	人口	世帯数
富岡第一	8,783	4,123
富岡第二	7,114	3,782
富岡第三	9,884	4,660
能見台	12,514	5,192
金沢シーサイドタウン	19,386	9,719
金沢東部	10,399	4,760
金沢中部	11,694	5,997
金沢南部	13,200	6,820
金沢	15,482	8,340
六浦東	5,877	3,055
六浦	13,672	7,390
六浦西	25,411	13,527
釜利谷	30,108	14,289



出典) 横浜市ポータルサイト

「町丁別年齢別男女別人口」による) 令和6年3月時点

※人口及び世帯数は町・丁目単位の統計数値に基づき算出したものであり、実際の地区の数値とは異なります。

地区社会福祉協議会（地区社協）

地区社協は「自分たちの地域は、自分たちで良くしていこう」という思いで組織された任意団体で、それぞれの地域の特性を生かした活動を行っています。金沢区には概ね連合町内会単位に14の地区社協があり、地区別計画の策定・推進を通じてより良い地域づくりを進めています。



メンバー

自治会町内会、民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、食生活等改善推進員（ヘルスマイト）、青少年指導員、スポーツ推進委員、環境事業推進委員、シニアクラブ、子ども会、学校等

ここには、13 地区の地区別計画を掲載予定です。(準備中)
(1 地区ごとに見開き 2 ページに計画を掲載)



ここには、13 地区の地区別計画を掲載予定です。(準備中)





LINKAI 横浜金沢の紹介

■金沢臨海部産業団地誕生までの経緯

金沢区の臨海部には、中小企業を中心として1,000以上の事業所が集積する市内有数の産業団地があります。このエリアは、昭和42年（1967年）の根岸湾埋立事業第2期八地区埋立工事から始まり、同年7月に決定された六大事業の一つである金沢地先埋立事業により造成された後に、平成7年（1995年）に白帆地区が編入され、現在の姿となりました。



▲ 工場等が集積する LINKAI 横浜金沢

■産業団地内の企業団体

エリア内は、鳥浜工業団地（鳥浜町）と金沢産業団地（幸浦一丁目～二丁目、福浦一丁目～三丁目、白帆）の2つのエリアに分かれており、それぞれに横浜市金沢団地協同組合と一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会の2つの企業団体が存在します。



▲ 上空から見た全体像

いずれの団体においても、良好な操業環境の

維持や企業間連携による産業の振興、福利厚生の実施等に取り組んでいます。

■LINKAI横浜金沢の誕生

平成27年（2015年）に、鳥浜工業団地と金沢産業団地の活性化に向けて、地元の工業団体及び横浜市で構成する金沢臨海部産業活性化研究会が設立され、平成29年（2017年）に金沢臨海部産業活性化プラン（※）を策定しました。同プランに基づき、エリア全体に親しみやすい新しい名前をつけることとなり、地域企業へのアンケート等の結果、エリアの新名称として「LINKAI横浜金沢」が選ばれました。



※本プランは、横浜市の各種計画等との整合を図りながら、地域の将来像や地域で進めていく取組等をまとめているものです。

■LINKAI横浜金沢に秘められた想い

この名称には「多くの中小企業が集まり操業する、働く魅力のある地域に、人が集まり、共に将来へ進みたい（つなぎあい、えがくみらい）」という想いが込められています。

“LINKAI”には、臨海部の“臨海”の意味のほかに、“LINK(絆/つながり)”と“AI(愛/合い)”の2つの意味があります。

■「企業集積を活かした、働く魅力がある、人が集まる産業団地」を目指して

金沢臨海部産業活性化プランでは、地域の目指す姿として「企業集積を活かした、働く魅力がある、人が集まる産業団地」を掲げ、LINKAI 横浜金沢の魅力を発信する取組を地域と一体となって推進しています。また、親子向けワークショップイベント「Aozora Factory」(P. 18) や操業環境の維持・向上のための「清掃活動」、販路拡大と企業間連携の促進を目的とした「テクニカルショウヨコハマ」へのLINKAI 横浜金沢ブース出展など、産業団地の活性化に取り組んでいます。

問合せ先「区政推進課」48 ページ参照

memo

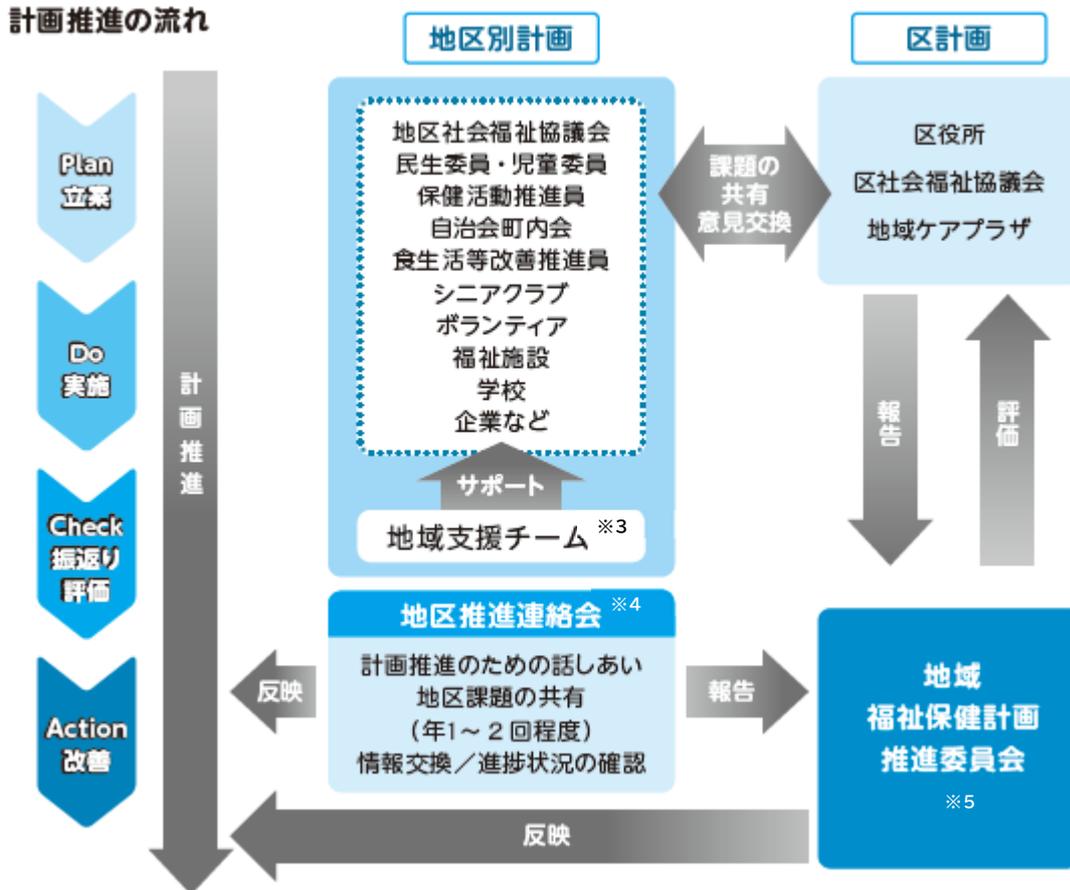


第4章 計画の進め方

1 計画の推進体制

金沢ささえあいプランは、PDC Aサイクルを活用しながら課題の共有や解決に向けた取組を計画的に進めていきます。

計画推進の流れ



※3・4については33ページをご覧ください。

※5については37ページをご覧ください。

(1) 地区別計画

地区ごとに連合自治会・町内会や、地区社会福祉協議会等の地域の活動団体が中心になり取組を進めます。

計画の策定・推進にあたっては区役所・区社協・地域ケアプラザ職員による構成される「地域支援チーム※3（33ページ参照）」が協働しながら地区の活動をサポートしていきます。

(2) 区計画

区役所・区社協・地域ケアプラザがそれぞれの役割を確認しながら協働して取組を進めます。評価については、区民意識調査の結果や金沢区の置かれている状況等を踏まえながら総合的に実施し、区内の福祉保健に携わる関係者や学識経験者等による地域福祉保健計画推進委員会※5（37ページ参照）の意見を受けながら今後に向けて必要な取組を検討し、計画の推進につなげていきます。

2 各機関の役割

(1) 区役所

区計画の策定・推進の中心的な役割を担います。推進にあたっては、個別支援を通じて把握した地域の課題や潜在的な課題も認識しながら取組を進めます。また、部署を超えた連携による横断的な「地域と向き合う体制」を整備し、地区別計画の策定・推進等の地域支援に取り組みます。

(2) 区社協

区社協の事業や会員をはじめとしたネットワークを通じて地域課題を把握し、地域住民や社会福祉関係者等の参加・協力を得ながら、個別支援（一人ひとりの困りごとの解決等）と地域支援（住民同士のつながりや支えあい活動等の支援）を連動させて課題解決に取り組むことで地域福祉保健計画を推進します。

(3) 地域ケアプラザ

地域の身近な福祉活動の拠点として、区計画及び地区別計画の策定・推進について区役所・区社協とともに取り組みます。また、業務や地域とのつながりを通じて把握した地域課題の解決に向けた活動や、地域の中での見守りや支えあう仕組みづくりを行う等、地域支援の中核的な役割を担っています。

※3 地域支援チームについて

最も身近な地縁組織である自治会町内会及び関係団体が住民の安全・安心な日常生活のために、幅広い分野で主体的・継続的に取り組んでいる課題に対して、区役所・区社協・地域ケアプラザが一体となって支援することを目的に設置されています。

地区別計画の策定・推進支援についても地域支援チームの主な活動になります。



▲ 地域の人を講師役に、まちの魅力や課題を知る取組である「まちあるき」を開催！



▲ チームメンバーの研修会では、より良い地域になるためにワークシートを使って意見交換も実施

※4 地区推進連絡会について

元々は第2期金沢ささえあいプランの推進母体でしたが、平成24年度から地区別計画にとどまらず、広く地域の課題を話し合う場として年に1～2回程度会議を開催しています。

地区連合自治会・町内会や地区社会福祉協議会が中心となり、地域の様々な活動団体が情報交換を通じて交流・連携し、地域課題に取り組んでいける「場（＝プラットフォーム）」となっています。



◀▲ 講義形式（写真上）やグループワーク（写真左）で地域のことを話し合います

第5章 計画の位置付けと策定経過

1 金沢ささえあいプランの位置付け

社会福祉法第107条の規定に基づき、市町村が策定するよう努めるとされている「地域福祉計画」に位置づけられますが、横浜市では名称に「保健」を加え、福祉と保健の取組を一体的に推進しています。

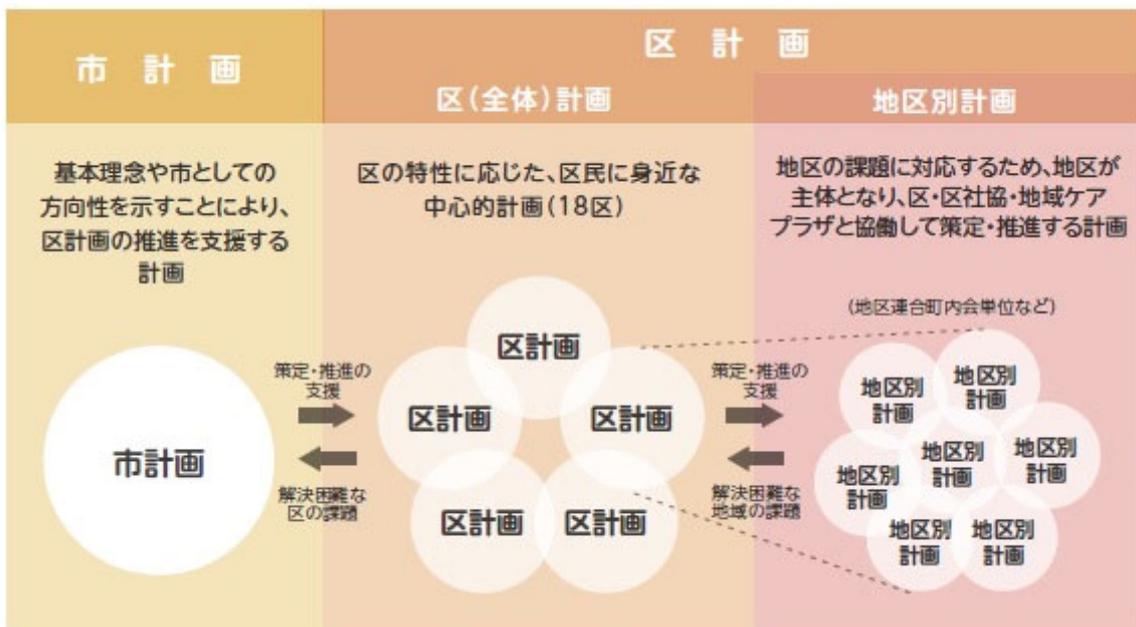
また、全国社会福祉協議会が策定した地域福祉活動計画策定指針に基づいて社協が策定・推進する「地域福祉活動計画」があります。この計画は地域の住民や関係機関・団体が主体となり地域福祉の向上を目指すための計画ですが、「地域福祉保健計画」と「地域福祉活動計画」は地域福祉の推進を目的とするなどの共通部分も多いため、第2期金沢区地域福祉保健計画からは一体的に策定・推進をしています。

	H8～17	H18～22	H23～27	H28～R2	R3～R7	R8～R12
区役所		第1期地域福祉保健計画	第2期地域福祉保健計画 (一体的に推進)	第3期地域福祉保健計画	第4期地域福祉保健計画	第5期地域福祉保健計画
区社協	第1次地域福祉活動計画	第2次地域福祉活動計画				

2 市計画との関係

横浜市の地域福祉保健計画は、市計画と18区の区(全体)計画で構成されています。

「市計画」は、市としての方向性を示す計画、「区計画」は区の特성에応じた区民に身近な計画、「地区別計画」は、地域の課題に対応するため地域で生活をする人が主体となり、区役所・区社協・地域ケアプラザが協働して策定・推進する計画になります。3つの計画はそれぞれに密接に連携しながら地域の課題解決に向けた取組を進めていきます。

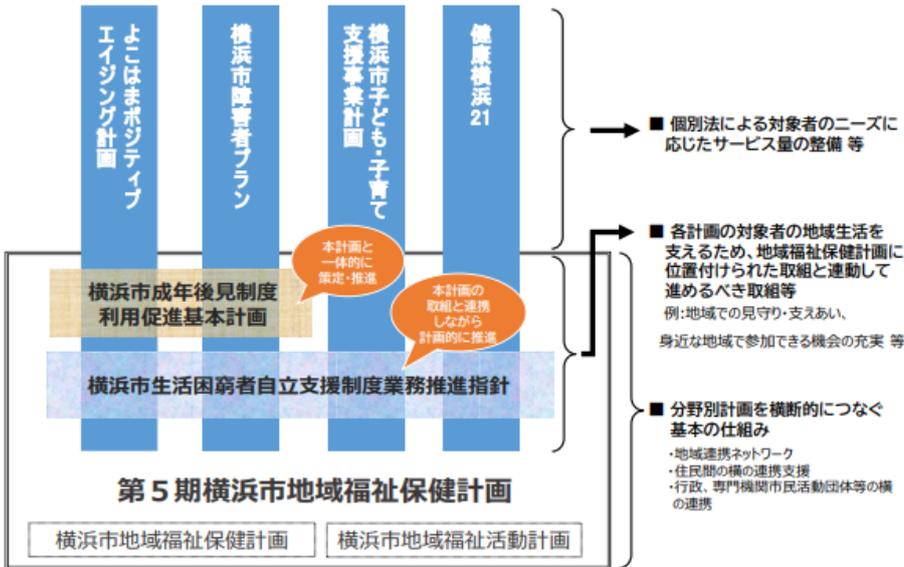


3 他分野計画との関係性

地域福祉保健計画は、地域の視点から高齢者、障害のある人、子ども・若者等の対象者や、保健や健康に関する分野別計画に共通する理念、方針及び取組推進の方向性等を明示し、対象者全体の地域生活の充実を図ることを目指しています。

また、各分野別計画に掲げた事業や地域活動支援は、地域福祉保健計画と連動して取組を進めることで対象者の地域生活の充実を図っていきます。

<主な福祉保健の分野別計画との関係>



金沢区独自の計画である「金沢区子育て支援の協働の指針」、「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた金沢区アクションプラン」、「横浜市都市計画マスタープラン金沢区プラン」とも整合性を図りながら取組を進めていきます。



【地域福祉保健計画に関係する計画】

- ・横浜市自殺対策計画 ・横浜市子どもの貧困対策に関する計画
- ・横浜市教育振興基本計画 ・横浜市再犯防止推進計画 ・横浜市人権施策基本指針

コラム

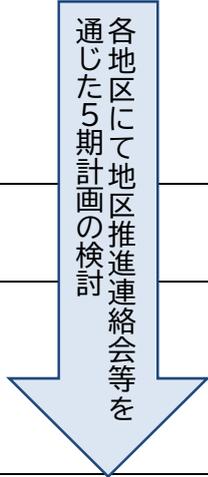
SDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえた計画の推進

- ・SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて掲げられた、2016年から2030年までの国際目標です。
- ・SDGsでは「誰一人として取り残さない」を基本理念に、環境・経済・社会の諸課題を統合的に解決し持続可能な世界を実現するため、17の目標が掲げられています。
- ・「横浜市中期計画 2022～2025」では、国から選定を受けた「SDGs未来都市」として、あらゆる施策においてSDGsを意識して取り組んでいくこととしています。
- ・SDGsの17の目標は、世界の都市に共通した普遍的な課題です。「誰一人取り残さない」という考えは、「誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせるよこはま」の実現という、横浜市地域福祉保健計画が掲げる理念にも当てはまるものです。
- ・また、SDGsは、「インクルーシブ社会（多様性を認め、尊重しあい、共に支えあうことができる社会）」の考え方と共通し、「地域共生社会」の実現を目指すことにもつながります。
- ・そのため、横浜市地域福祉保健計画の推進にあたっては、SDGsを意識して取り組み、地域住民や地域の多様な主体の連携・協働によって、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らすことのできる地域社会の実現を目指します。

<SDGsの目標のアイコンとロゴ>



4 策定経過

年度	月	区計画	地区別計画
令和5 (2023)	4～6	令和5年度金沢区区民意識調査※6	令和5年 春期地区推進連絡会 ○令和4年度の振り返り
	7～9	地域福祉計画推進プロジェクト ○第4期計画中間評価の検討	
	10～12	地域福祉保健計画推進委員会 (地域福祉保健推進会議) ○第4期計画中間評価の検討	令和5年 秋期地区推進連絡会
	1～3	当事者・団体ヒアリング ※7	第4期計画 中間振り返り
令和6 (2024)	4～8	地域福祉保健計画推進プロジェクト ○第5期計画骨子案の検討 第1回地域福祉保健計画推進委員会 ○第5期計画骨子の確定	
	9～12	地域福祉保健計画推進プロジェクト 第2回地域福祉保健計画推進委員会 (地域福祉保健推進会議) ○第5期計画素案の検討 ○第5期計画素案の確定	第5期計画の検討 
令和7 (2025) 予定	4～5	第5期計画素案に対する区民意見募集	
	6～8	地域福祉保健計画推進プロジェクト 地域福祉保健計画推進委員会 ○区民意見募集の結果報告 ○第5期計画原案の検討	
	9～11	第5期計画の確定	第5期計画の確定
	12～2	冊子の校正・印刷	リーフレットの校正・印刷
	3	第5期計画公表	第5期計画公表

※6・7については38ページをご覧ください。

※5 地域福祉保健計画推進委員会

福祉・保健・医療団体関係者及び有識者で構成され、地域福祉保健計画の策定・推進・評価について意見交換を行う委員会です。

委員名簿（令和6～7年度）

氏名	所属等	備考
有本 梓	横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野 教授	
榎田 卓央	横浜市立並木中学校校長	
木下 眞佐美	横浜市能見台地域ケアプラザ所長	
佐々木 画生	金沢区社会福祉協議会理事	
清水 啓作	公募委員	
清水 康男	横浜市立並木第四小学校校長	
鈴木 節子	金沢区民生委員児童委員協議会副会長	
鈴木 正徳	金沢南部地区連合町内会会長	
高松 礼子	金沢区保健活動推進員会副会長	
三輪 律江	横浜市立大学国際教養学部都市学系 大学院都市社会文化研究科 教授	
柳下 道晴	金沢区三師会総合事務局事務長	

（五十音順・敬称略）



▲ 推進委員会の様子

※6 金沢区区民意識調査について

- (1) 調査対象 : 金沢区内にお住まいの18歳以上の方3,000人
- (2) 抽出方法 : 住民基本台帳から無作為抽出
- (3) 回答数 : 1,680票(回答率56.0%)
- (4) 調査期間 : 令和5年5月18日~6月12日
- (5) 調査方法 : 郵送による配布、郵送による回収及びWeb回答
- (6) 調査項目 : 身近な地域の暮らしやすさ、心配ごと困り事、地域活動への参加状況、顔見知りの関係を築くために取り組めること等



▲ 区民意識調査の詳細はこちらから



ぼたんちゃんを知っていると「暮らしやすい」、
「(現在の健康状態について)健康だと思う」と感じている人が多いことも分かったよ
広報紙やイベントなどでぼたんちゃんを探してみてね♡

区民意識調査結果のうち、福祉・保健に関わる分析や検定は金沢区にある『横浜市衛生研究所』にて実施をしています。



▲ 横浜市衛生研究所

※7 当事者・支援者へのインタビューについて

- (1) 対象者 : 以下の方及び支援者 計24人

①障害関連

肢体不自由者、日中活動系サービス・グループホーム・就労移行支援事業所・中途障害者地域活動センターの利用者及び職員

②養育者関係

障害児を育てる養育者、地域子育て支援施設の職員

③その他

介護者及び支援者、外国につながる方及び支援者

- (2) ヒアリングの内容

テーマ : 「地域でこれからも暮らし続けていくために」

【当事者】・生活する中で困っていること(買い物、公共交通機関など)

・地域との関係性

(挨拶や会話、地域行事への参加、把握方法、出来たら嬉しいことなど)

【職員】・利用者・相談者の傾向

・地域との連携について

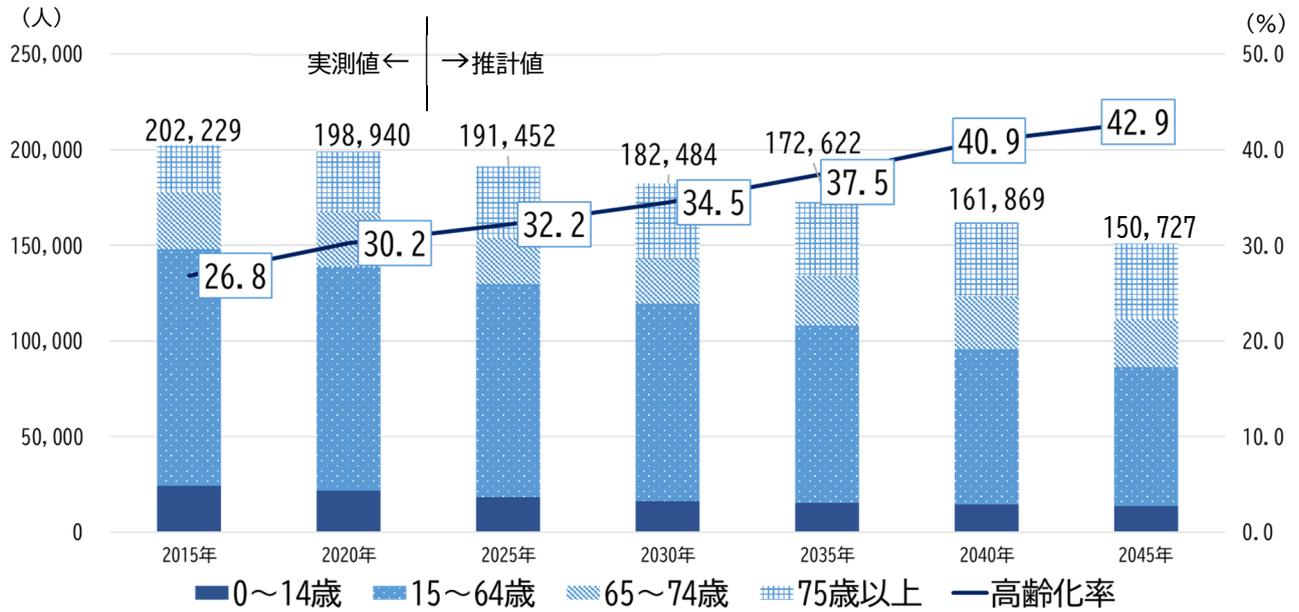
(実際にやっていること、これからやってみたいこと)

1 データで見る金沢区の状況

(1) 人口や世帯の状況

①人口（年齢4区分別）の推移と将来推計、高齢化率

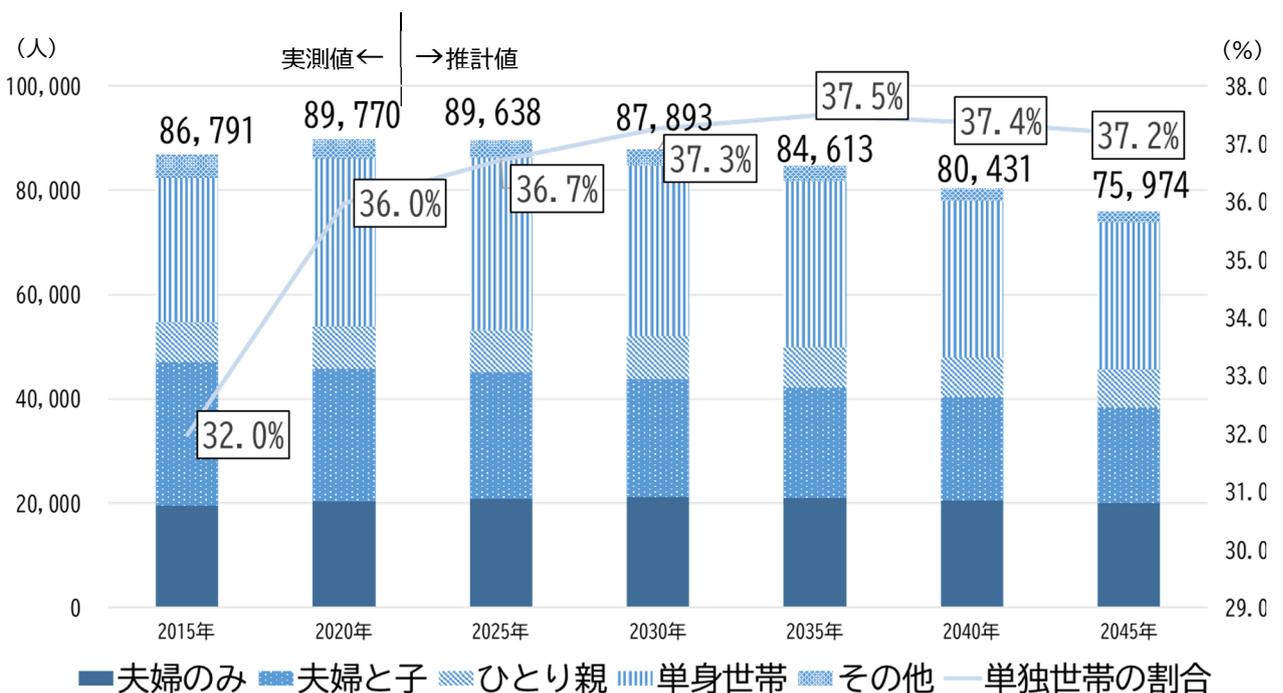
人口は年々減少しています。高齢化に伴って、生産年齢人口（15～64歳）が減少し、高齢化率は2030年には34.5%（3人に1人）2045年には42.9%（2.3人に1人）と推測されています。



出典) 横浜市将来人口推計

②家族類型別世帯数の推移

単身世帯の割合が年々増加しており、2035年には37.5%に達することが見込まれています。



出典) 横浜市将来人口推計

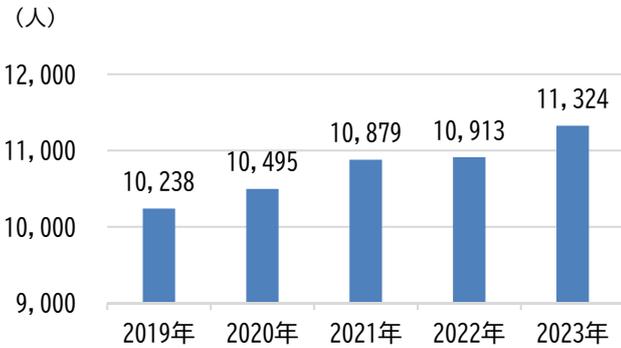
(2) 各分野における状況

＜高齢者＞

金沢区の高齢化率（65歳以上人口の割合）は、31.2%となり、横浜市平均の25.4%を上回り18区中第2位です。（2024年1月1日現在 住民基本台帳による）

高齢化に伴い区内の要介護認定者数は、ここ5か年度で約1,000人増加し約1.1倍に、認知症高齢者数※は、約600人増加し約1.1倍となっています。

●要介護認定者数の変化

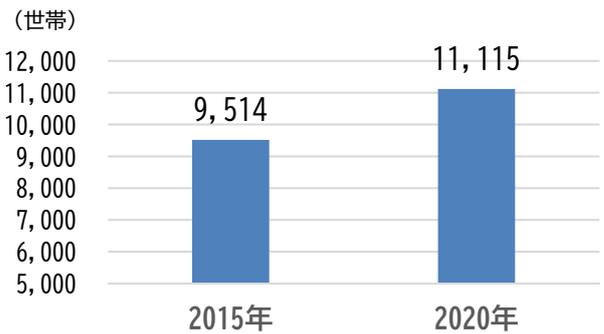
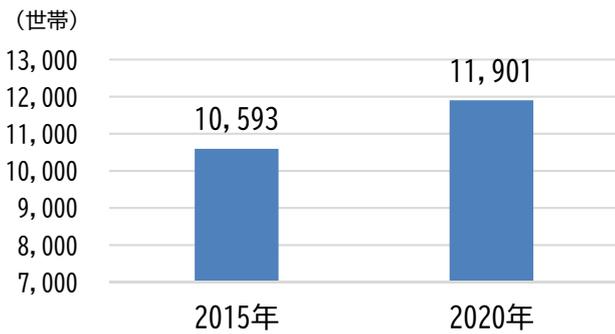


●認知症高齢者数※8の変化



※8 区内の介護保険認定者のうち認知症が疑われる高齢者数（認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱa以上の方）

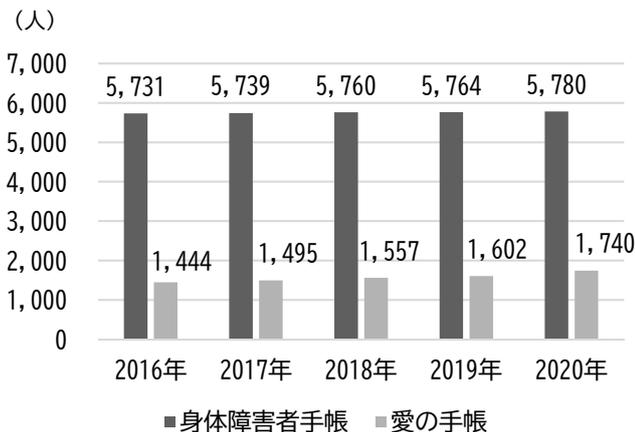
●高齢夫婦世帯と高齢単身世帯の推移



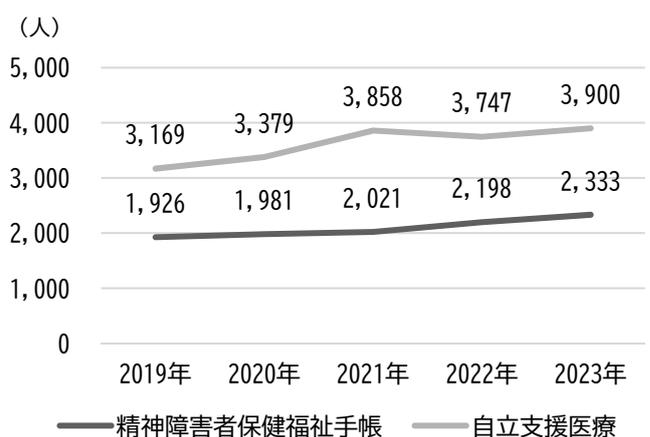
＜障害＞

身体障害者手帳所持者は横ばいから令和4年に減少に転じています。知的障害者手帳所持者は微増の傾向が続いています、精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療（精神通院医療）受給者は増加傾向にあります。

●身体・知的障害者手帳所持者数



●精神障害者保健福祉手帳所持者・自立支援医療受給者数

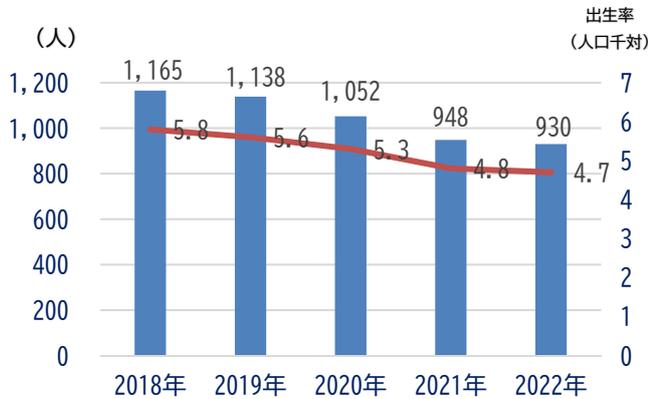


《こども》

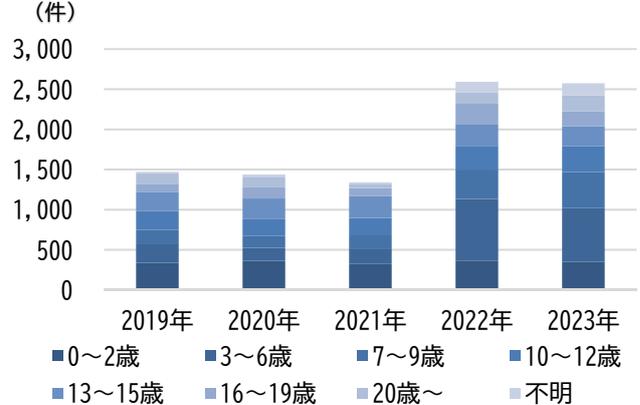
出生数は減少傾向で、出生率（人口千対）は18区中17位を推移しています。

こども・家庭支援相談の相談件数は、機構改革により相談を受ける体制が代わり、細やかに相談対応をしたことにより、2022年度から相談件数が増え特に幼児期や学齢期の相談割合が多い傾向があります。

●出生数の推移



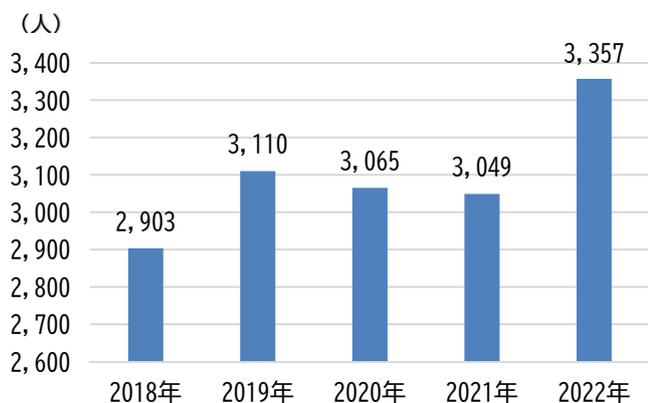
●相談件数



《外国人》

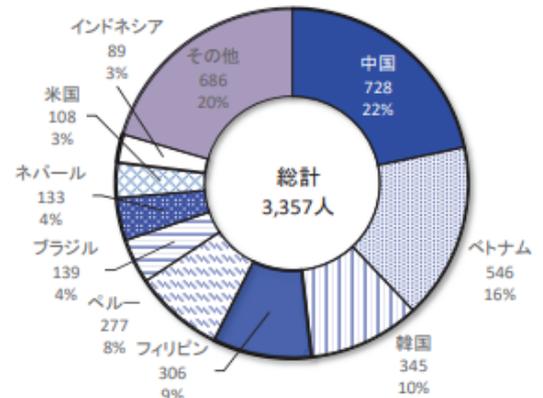
金沢区で生活をする外国人の方は3,357人で横浜市内では14位と人数は少ない方ですが、5年前から比較すると約450人増加しています。

●外国人人口の推移



●国名登録人口割合

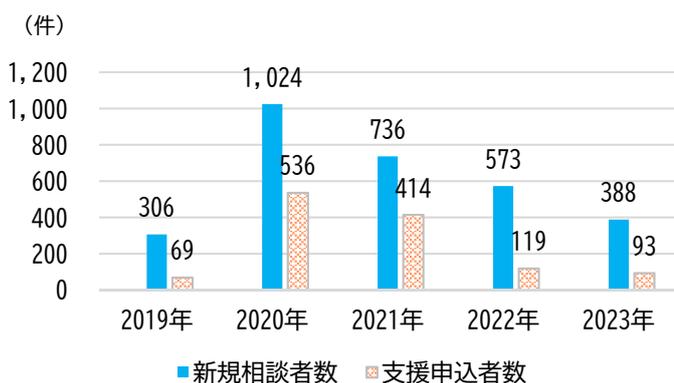
令和4年度末 (単位:人)



出典) 金沢区統計要覧 (2023 - 2024)

《生活困窮》

●生活困窮者支援制度における相談数

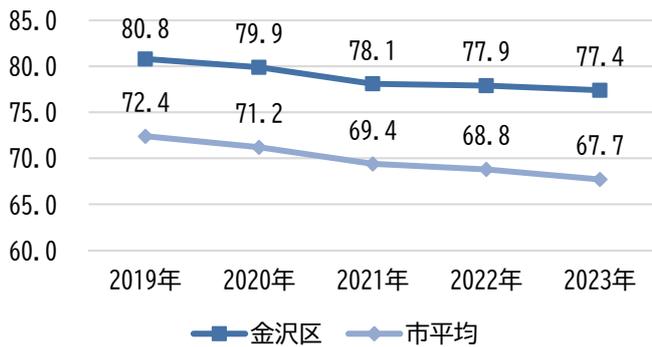


コロナ禍では影響を受けた方々に対し、数々の施策が設けられたため相談数が大幅に増加しました。コロナの終息とともに相談数は減少傾向にあります。しかし、物価高騰、就業環境の変化等の影響もあり、コロナ以前と比較すると新規相談者数、支援申込者数は増加しています。

《地域活動の状況》

●自治会町内会加入率

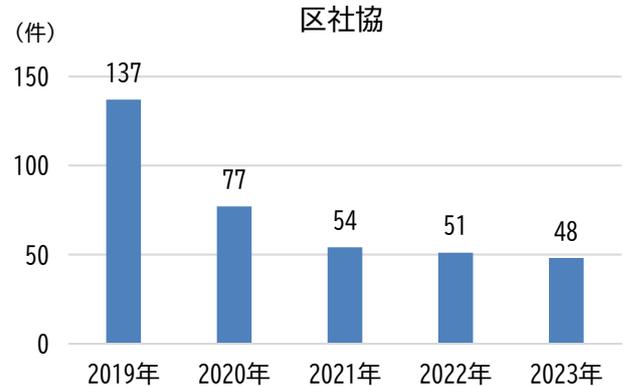
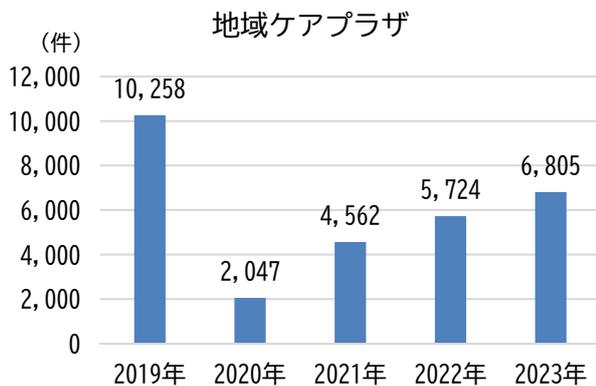
(%)



日頃の見守りや助けあい等地域福祉の推進や、災害等不測の事態や緊急の課題にも対応する、最も基礎的な団体として、自治会町内会の役割はますます重要になっています。

●区内のボランティア活動状況

区内の地域ケアプラザ、区社協（ボランティアセンター・移動情報センター）におけるボランティア活動件数は新型コロナウイルス感染症の蔓延により大幅に減少をし、感染対策が緩和された後もコロナ前の半数程度に留まっています。



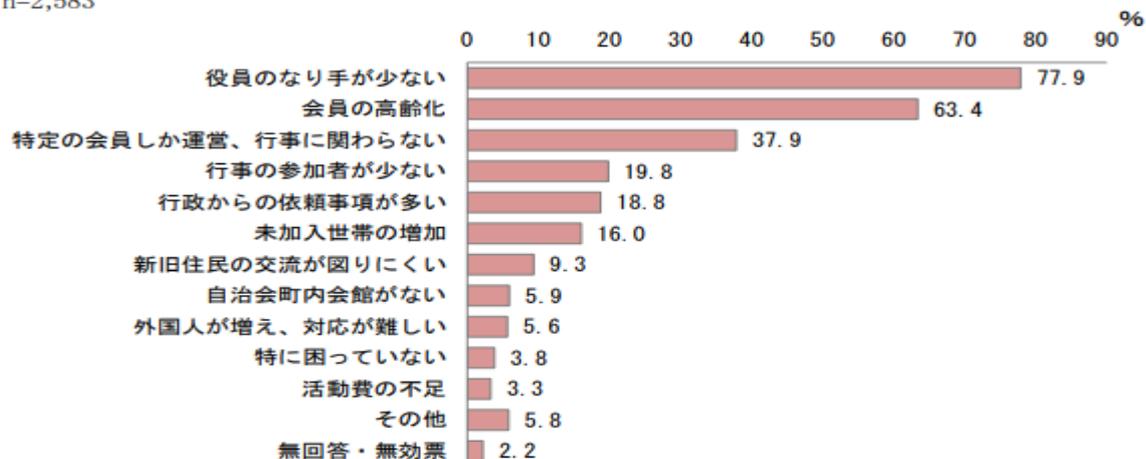
出典) 地域ケアプラザ事業報告、区社協事業報告

●地域活動者アンケート

自治会町内会の運営上の課題について、「役員のなり手が少ない」が77.9%と最も多く、次いで「会員の高齢化」(63.4%)、「特定の会員しか運営、行事に関わらない」(37.9%)となっています。

運営上の課題 ※複数回答

n=2,583

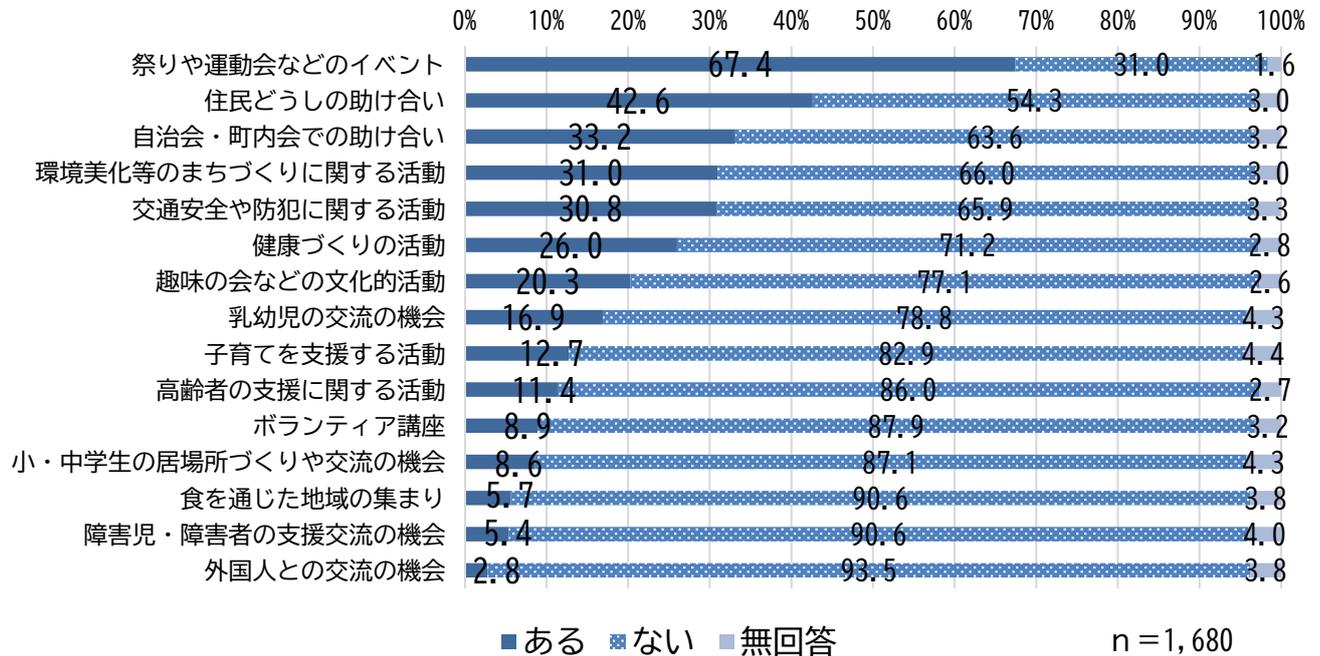


出典) 令和2年度横浜市 自治会町内会・地区連合町内会 アンケート調査報告書

《令和5年度金沢区区民意識調査の結果》

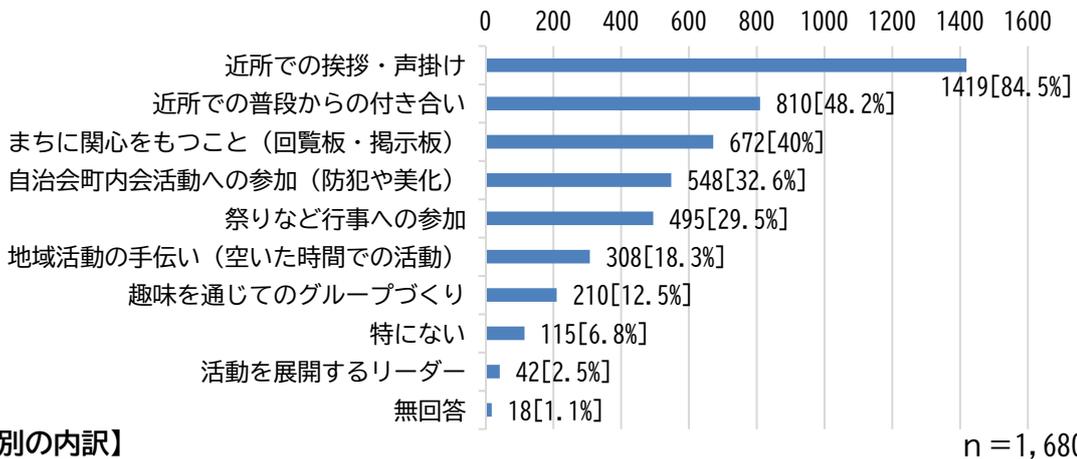
●地域活動への参加状況（複数回答）

「祭りや運動会などのイベント」、「住民同士のちょっとした助け合い（物の貸し借り、買い物など）」、「自治会・町内会での助け合い（災害時の避難支援、手伝いが必要な人の把握など）」の順に参加された経験を持つ方が多くいました。



●地域で「顔見知りの関係」を築くために取り組めると思うもの（複数回答）

全ての年代で「近所での挨拶・声掛け」が第1位、また40代以下では「行事への参加」が上位でした。



【年代別の内訳】

	10代 n=18	20代 n=96	30代 n=134	40代 n=233	50代 n=300	60~64歳 n=176	65~69歳 n=129	70~74歳 n=212	75歳以上 n=359	
1位	近所での挨拶・声掛け									
2位	行事への参加	普段からの近所付き合い								
3位	普段からの近所付き合い	行事への参加			まちに関心を持つ					
4位	地域活動の手伝い	まちに関心を持つ			自治会町内会活動への参加					

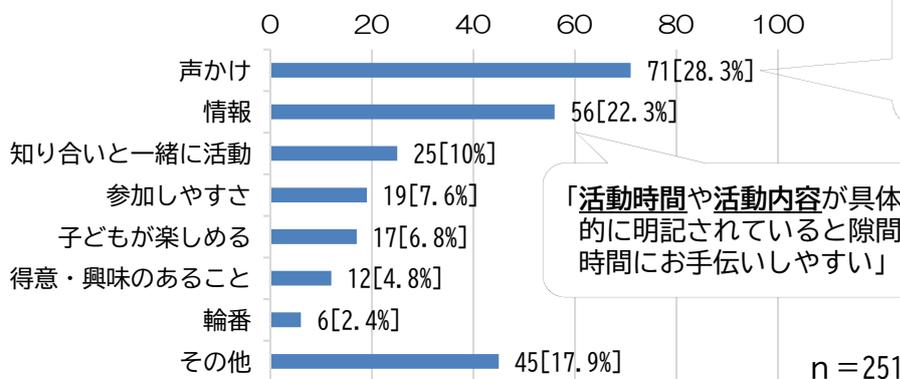
●地域の活動の担い手として参加するために必要と思うこと（複数回答）

65～69歳を除く世代で、「きっかけ（親しい人から誘われるなど）」が1位でした。また、現役世代（20～64歳）は「空いて入る時間に活動できる」が上位でした。

	10代 n=18	20代 n=96	30代 n=134	40代 n=233	50代 n=300	60～64歳 n=176	65～69歳 n=129	70～74歳 n=212	75歳以上 n=359
1位	きっかけ						必要な情報の提供	きっかけ	
2位	楽しそうな雰囲気	空いている時間に活動できる		必要な情報の提供	空いている時間に活動できる		きっかけ	必要な情報の提供	
3位	必要な情報の提供	楽しそうな雰囲気		空いている時間に活動できる	必要な情報の提供		空いている時間に活動できる		活動場所



どのような「きっかけ」があれば、地域で行われている行事のお手伝いができるか
令和5年度の「いきいきフェスタ」で聞いてみたよ



友人・知人・隣近所・町内会からの「楽しくやろう」、「一緒にやらない？」等の声かけ

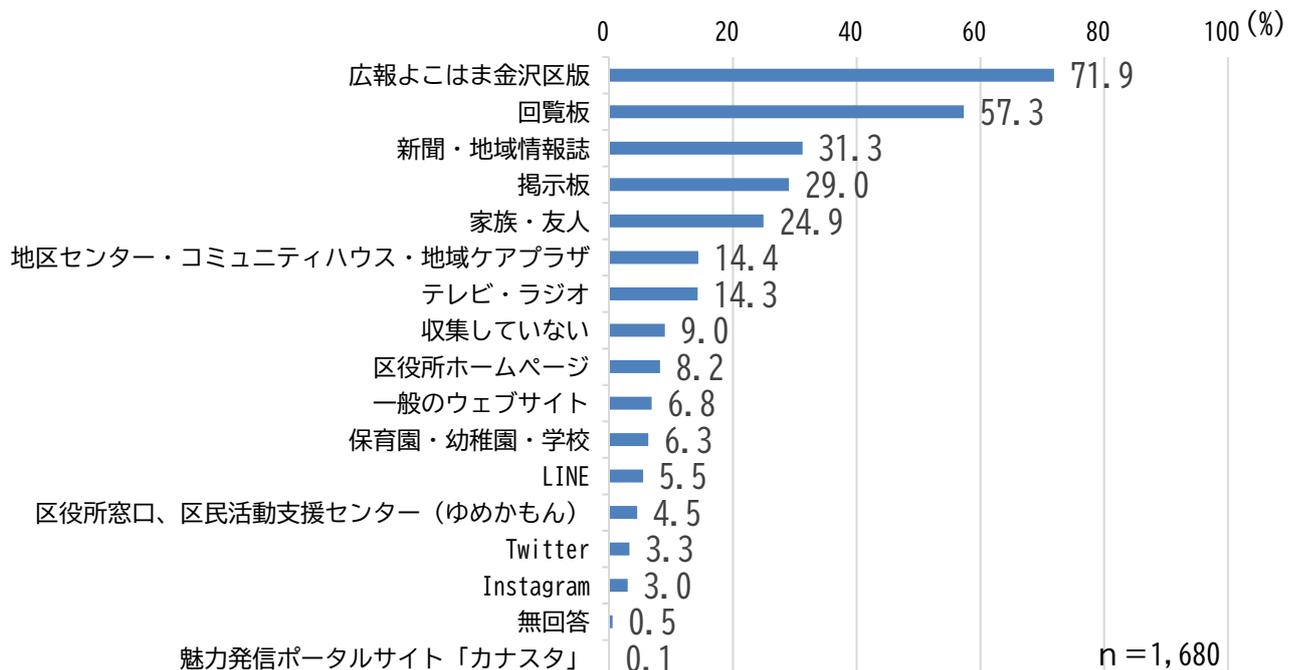
「活動時間や活動内容が具体的に明記されていると隙間時間にお手伝いしやすい」



▲ いきいきフェスタの様子

●情報の入手先（複数回答）

「広報よこはま金沢区版」が71.9% 「回覧板」が57.3%、次いで「新聞・地域情報誌」、掲示板となっており、年代が上がるに従い紙媒体が多い傾向にあります。



2 地域で活動する主な活動団体等

■自治会町内会

地域に居住する人々が、身近な問題を解決したり、地域の人々との結びつきを深めながら、豊かで住みやすいまちづくりを目指して自主的に運営している民主的な団体です。(令和6年4月現在 164 団体)

金沢区町内会連合会は、区内 13 地区の連合町内会の代表者によって組織された団体であり、防犯や防災、福祉、環境問題等について、地域の意見を代表して区に意見を述べ、区政の運営に反映させる等暮らしやすいまちづくりの実現のために日々活動しています。

■地区社会福祉協議会

27 ページ参照

■金沢区民生委員児童委員協議会

民生委員・児童委員は厚生労働大臣から委嘱された特別職地方公務員です。

地域の身近な相談相手として、介護や子育て等福祉に関する様々な相談に応じ、区役所や関係機関を紹介する「つなぎ役」として活動しています。金沢区には、金沢区民生委員児童委員協議会と 16 の地区民生委員児童委員協議会があります。(令和6年4月現在 243 人)

■金沢区主任児童委員連絡会

主任児童委員は、子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員です。相談内容に応じて、エリアを担当する民生委員・児童委員や区役所、学校、児童相談所等と連携して支援を行っています。(令和6年4月現在 30 人)

■金沢区保健活動推進員会

保健活動推進員は、自治会町内会の推薦を受けて市長に委嘱された、地域の健康づくり活動の推進役、横浜市の健康施策のパートナーです。地域において生活習慣病の予防等の健康づくり活動や、活動に取り組む環境を支援する役割を担っています。(令和6年4月末現在 218 人)

■金沢区食生活等改善推進員会(愛称 ヘルスメイト)

食生活等改善推進員は、「私たちの健康は、私たちの手で」をスローガンに、食生活・運動・休養の健康づくりを地域に普及している全国組織のボランティア団体です。健康寿命の延伸を目的とした健康横浜 21^{※9}に基づき、乳幼児から高齢者までのライフステージに合わせた健康づくりや食育の啓発活動を地域と連携しながら推進しています。(令和6年4月末現在 114 人)

※9 健康横浜 21 とは

市民の最も大きな健康課題である生活習慣病に着目した横浜市における健康づくりの指針

■金沢区シニアクラブ連合会 【シニアクラブ連合会事務局：いきいきセンター金沢3F】

シニアクラブは、高齢者が住み慣れた地域での仲間づくりをとおして、生きがいと健康づくり、「生活を豊かにする楽しい活動」を行っています。その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、「地域を豊かにする社会活動」に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めています。集いの場づくり等をとおして高齢者相互の支えあい活動を進めています。(令和6年4月現在 4,572 人)

■金沢保護司会

保護司は、社会奉仕の精神をもって、罪を犯してしまった人の更生を手助けするとともに、犯罪の予防のための啓発に努め、公共の福祉に寄与すること等を使命としています。保護司は、法務大臣より委嘱され、都道府県の区域を分けて定められた保護区に保護司会を組織するものとされています。(令和6年4月現在 27 人)

■金沢区更生保護女性会

女性の立場から次代を担う青少年の健全育成に努めるとともに、過ちに陥った人たちの立ち直りを助け、明るい社会づくりを目指すボランティア団体です。社会を明るくする運動街頭キャンペーンを実施するほか、地区大会・ミニ集会への参加・協力、更生を願って会員が手書きした“愛の年賀はがき”を少年院等に贈る活動を行っています。(令和6年6月現在 127人)

■金沢区青少年指導員協議会

青少年指導員は、青少年健全育成を図ることを目的として、自治会町内会や学校等地域と連携しながら、青少年の自主活動とその育成活動を推進しています。各地区の見守り活動やパトロールのほか、キャンプ等のイベントの企画・実施等を行っています。(令和6年4月現在 102人)

■金沢区スポーツ推進委員連絡協議会

スポーツ推進委員は地域(地区連合自治会・町内会または自治会町内会)を活動拠点として、地域住民のスポーツ・レクリエーション振興についての理解と関心を高めるため普及活動やスポーツ活動の企画・運営、指導者の育成・発掘等の活動を行っています。地域の組織として金沢区スポーツ推進委員連絡協議会があり、市・区・地区・各種スポーツ団体が催すスポーツ振興事業の企画への参画や運営協力をしています。(令和6年4月現在 114人)

■環境事業推進委員

地域でのごみの減量による脱温暖化にむけた3R(リユース・リデュース・リサイクル)活動と地域の美化や清潔の保持等を推進しています。各地区でのごみ集積場所等における分別排出の普及啓発や不法投棄やポイ捨て等街の美化にかかわる取組を進めています。(令和6年4月現在 196人)

■金沢防犯協会

犯罪のない明るい街づくりに寄与することを目的として、金沢警察署や金沢区役所をはじめ関係機関、地域のボランティア等と協働し、地域安全活動への協力・支援をするとともに、区民の皆様が安全で安心して暮らせるよう防犯意識の高揚を図り、少年の健全育成活動の推進等を行う団体です。各種防犯キャンペーンの開催や防犯パトロール、青パトによる防犯広報活動等を行っています。

(令和6年4月現在 個人会員 212人 自治会町内会 164団体)

■家庭防災員

自助から始まり地域防災の担い手にもつなげる研修制度である家庭防災員研修を受講した人です。地域では、自主活動として家庭防災員のみなさんが中心になって、自ら企画し、地域のために行う防災活動を行っています。

■金沢消防団

消防団員は、普段は本業を持ちながら、火災発生時の消火活動、地震や風水害等の大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒活動、避難誘導などを行っています。また、平常時においても訓練のほか、自治会・町内会、学校などへの防災指導や救命活動、広報活動などを実施しています。金沢消防団は8つの分団に分かれ、管轄地域の地域特性に合わせて活動しており、地域防災力の向上において重要な役割を担っています。(令和6年4月現在 537人)

このほかにも多くの自主的なグループが地域で活躍しています！

公共的な団体の取組とともに、身近な場所で活動する自主グループやボランティア団体の存在が地域の「つながり」や「ささえあい」に大きく貢献しています！



3 相談・支援機関一覧

名称	相談内容	連絡先・住所・開所時間	
地域ケアプラザ	地域の身近な相談窓口として、子どもから高齢者、障害児・者の福祉・保健に関する相談を受けて、内容に応じて必要な情報提供や支援につながります。	連絡先は48ページをご覧ください 月曜～土曜 9:00～21:00 ※施設によっては18時閉館の場合がございます 日曜・祝日 9:00～17:00 【相談時間】 月曜～土曜 9:00～18:00 日曜・祝日 9:00～17:00	
金沢区社会福祉協議会	地域活動を支援するとともに、暮らしの困りごとの相談に応じ、関係機関と連携して支援します。 (あんしんセンター、移動情報センター、ボランティアセンターほか)	電話 788-6080 FAX 784-9011 月～土曜日 9:00～17:00	泥亀1-21-5 いきいきセンター 一金沢1階
金沢区地域子育て支援拠点 「とことこ」	子育てに関する悩みや心配事があれば、気軽にスタッフに相談できます。また、相談対応専任職員(横浜子育てパートナー)や、地域の中での預け、預かり合いをコーディネートする横浜子育てサポートシステム事務局を担っています。	電話 780-3205 FAX 780-3206 火～土曜日 9:30～15:30	能見台東5-6 (2階)
こども家庭支援センター 「さくらの木」	子育てやご家庭に関するさまざまな相談を心理士や相談員がお受けしています。必要に応じて関係機関と連携して支援します。	電話 355-0006 毎日 10:00～18:00	能見台通16-25
金沢区基幹相談支援センター 「金沢地域活動ホーム りんごの森」	障害のある方が住み慣れた地域で暮らし続けるため、障害のある方やその家族、関係機関等から生活上の困りごとや障害福祉サービス全般についてご相談に応じています。	電話 374-3463 FAX 374-3409 月～金曜日 9:00～17:00	能見台通9-30 能見台SKビル1階
金沢区生活支援センター 「愛&あい」	こころの病のある人や家族等が安心して地域で生活を送れるよう精神保健福祉の相談に応じています。	電話 701-4117 FAX 701-4116 月～土曜日 9:00～16:00	泥亀2-1-7 鈴木ビル2階
金沢区障害者後見的支援室 「帆海(ほなみ)」	障害のある人が地域で安心して暮らす為に身近な地域での本人の見守りの体制を構築し、本人の思いに寄り添い希望に基づく生活の実現をともに考えていきます。	電話 788-2114 FAX 788-2160 月～金曜日 9:00～17:00	釜利谷東 2-15-20 金沢文庫 金井ビル1階
金沢区民活動センター 「ゆめかもん」	身近な地域における市民活動や、生涯学習を始めたい・深めたいという方を対象に相談や各種講座、情報提供等を行っています。	電話 788-7803 FAX 789-2147 毎日(第1日曜日、年末年始、土日と重ならない祝日、振休を除く) 8:45～17:00	泥亀2-9-1 (区役所2階)
金沢国際交流ラウンジ	区内の在住外国人支援・国際交流・多文化共生を目的とし、日本語教室や窓口での相談対応を通じ、外国につながる方の生活支援を行っています。	電話 786-0531 FAX 786-0532 月～土曜日 9:00～17:00	泥亀2-9-1 (区役所2階)

◆金沢区役所の各課においても相談に応じています。

◆開所時間を変更している場合があります。事前にお問合せください。

4 区（全体）計画の取組にかかる問合せ先一覧

名称		連絡先	住所・開所時間	
区役所	福祉保健課	運営企画係	電話 788-7820 F A X 784-4600	
		事業企画担当	電話 788-7824 F A X 784-4600	
		健康づくり係	電話 788-7840 F A X 784-4600	
	高齢・障害支援課	高齢者支援担当	電話 788-7777 F A X 786-8872	
		障害者支援担当	電話 788-7849 F A X 786-8872	
	こども家庭支援課		電話 788-7785 F A X 788-7794	泥亀 2-9-1 月～金曜日 8:45～17:00
	生活支援課		電話 788-7814 F A X 788-7883	
	区政推進課		電話 788-7726 F A X 786-4887	
	地域振興課	地域力推進担当	電話 788-7809 F A X 788-1937	
		区民活動支援担当	電話 788-7806 F A X 788-1937	
土木事務所		電話 781-2511 F A X 781-2822	寺前 1-9-26 開所時間は区役所と同じ	
区社協	金沢区社会福祉協議会	電話 788-6080 F A X 784-9011	泥亀 1-21-5 (いきいきセンター金沢 1階) 月～土曜日 9:00～17:00	
地域ケアプラザ (開所時間は47ページ参照)	並木地域ケアプラザ		電話 775-0707 F A X 775-0877	富岡東 2-5-31
	富岡東地域ケアプラザ		電話 776-2030 F A X 770-5010	富岡東 4-13-3
	富岡地域ケアプラザ		電話 771-2301 F A X 771-2360	富岡西 7-16-1
	能見台地域ケアプラザ		電話 787-0991 F A X 787-0993	能見台東 2-1
	泥亀地域ケアプラザ		電話 782-2940 F A X 782-2959	泥亀 1-21-5 (いきいきセンター金沢 1階)
	釜利谷地域ケアプラザ		電話 788-2901 F A X 788-2906	釜利谷南 2-8-1
	西金沢地域ケアプラザ		電話 788-2228 F A X 780-3080	釜利谷南 3-22-3
	柳町地域ケアプラザ		電話 790-5225 F A X 790-5227	柳町 1-4
	六浦地域ケアプラザ		電話 349-5141 F A X 349-5119	六浦 5-20-2
	西柴地域ケアプラザ		電話 780-1150 F A X 780-1153	柴町 343-5

金沢ささえあいプラン（素案）ご意見募集について

将来にわたって、誰もが安心して健やかに住み続けられる金沢区になるように、金沢ささえあいプラン（素案）の内容に対するご意見やご提案をお寄せください。

提出方法については裏面をご覧ください。



【ご提出にあたり、以下の点にご留意ください】

- ・いただいたご意見は今後の計画策定や地域福祉保健施策の参考とさせていただきます。
- ・後日、ご意見を取りまとめたものを金沢区地域福祉保健計画推進委員会へ報告するとともに、ホームページにて公表します。
- ・ご意見に対する個別回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ご意見の提出等に伴い取得した個人情報は適正に管理し、この意見募集以外の目的で利用することはありません。

ご意見等は

令和7年4月11日（金）から

令和7年5月16日（金）まで（必着）

にお寄せください。

素案は金沢区役所及び金沢区社会福祉協議会
ホームページでもご覧いただけます。

【金沢区役所】



【金沢区社会福祉協議会】



郵便はがき

料金受取人払郵便

横浜金沢局
承認
60

差出有効期間
2025年5月16日まで

2 3 6 8 7 9 0

横浜市金沢区泥亀2-9-1
金沢区役所福祉保健課
事業企画担当 行

キリトリ線

見本

※このハガキは使用できません。

・差出人情報

あなたのお住まいの町名を記載してください。

（該当するところに○をつけてください。）

- 年齢
- | | |
|-----------|-----------|
| a. 18歳未満 | b. 18～39歳 |
| c. 40～64歳 | d. 65～74歳 |
| e. 75歳以上 | |

ご意見・ご提案の提出方法について

◆次のいずれかの方法でご意見をお寄せください。

電子申請
フオ一ム

携帯電話、スマートフォン、パソコンから
ご利用ください。

(右記二次元コードまたは下記 URL からアクセスできます)

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/2e24a4a2-a3cc-419f-a6f7-7ada3ab65397/start>



電子メール

kz-chifukuplan@city.yokohama.lg.jp

郵便

素案冊子の裏表紙に印字されている専用ハガキを
ご利用ください。その他、封書でも可能です。

F A X

045-784-4600

※電子メール・封書・FAX の場合、書式は問いませんが、お住まいの町名、年齢（18歳未満・18～39歳・40～64歳・65～74歳・75歳以上）をご記入ください。

計画素案について、ご意見をお聞かせください。

見本

※このハガキは使用できません。



この冊子を開いてみてどんな
ことを感じたか、感想でも良
いです。
たくさんのご意見お待ちしております。

発行・お問合せ先

横浜市金沢区役所 福祉保健課 事業企画担当

■〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 2-9-1

■電話：045-788-7824

■FAX：045-784-4600

■Eメール：kz-chifukuplan@city.yokohama.lg.jp

社会福祉法人 横浜市金沢区社会福祉協議会

■〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 1-21-5

■電話：045-788-6080

■FAX：045-784-9011

■Eメール：info@kanazawa-shakyo.jp

令和7年3月発行

ご協力ありがとうございました。

金沢区自治会町内会会長 様

金沢区福祉保健課長
金沢区社会福祉協議会事務局長

「第5期金沢ささえあいプラン（地域福祉保健計画）」の素案に対する
区民意見募集の実施について（周知）

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、金沢区の福祉保健事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

金沢区では誰もが安心して健やかに住み続けられるまちを目指して、地域の皆様と関係機関、区役所等が協働しながら「金沢ささえあいプラン」を推進して参りました。

この度、令和8年度から12年度を計画期間とする「第5期金沢ささえあいプラン」の素案が完成したため、素案に対する区民意見募集を行います。

つきましては、ご意見やご提案がありましたらお寄せいただきますようお願い申し上げます。

なお、詳細については広報よこはま4月号のお知らせ欄にも掲載予定です。

1. 意見募集概要

(1) 募集期間：令和7年4月11日（金）～令和7年5月16日（金）必着

(2) 配布場所：区役所（事業企画担当、広報相談係）、区社会福祉協議会、
地域ケアプラザ、地域子育て支援拠点「とことこ」、
基幹相談支援センター「金沢地域活動ホーム りんごの森」、
地区センター、コミュニティハウス、区民活動センター、
金沢図書館

(3) 提出方法：素案に付属のハガキ、横浜市電子申請システム、電子メール、FAX

2. 送付内容

・第5期金沢ささえあいプラン素案（概要版） リーフレット

担当：金沢区役所福祉保健課事業企画担当
和泉、中島、水野
TEL：788-7824
FAX：784-4600
Email：kz-chifukuplan@city.yokohama.lg.jp

ご意見・ご提案の提出方法について



◆次のいずれかの方法でご意見をお寄せください。

電子申請
フォーム

携帯電話、スマートフォン、パソコンから
ご利用ください。
(右記二次元コードまたは下記 URL からアクセスできます)



<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/2e24a4a2-a3cc-419f-a6f7-7ada3ab65397/start>

電子メール

kz-chifukuplan@city.yokohama.lg.jp

郵便

素案冊子の裏表紙に印字されている専用ハガキをご
利用ください。その他、封書でも可能です。

FAX

045-784-4600

※電子メール・封書・FAXの場合、書式は問いませんが、お住まいの町名、年齢（18歳未満・18～39歳・40～64歳・65～74歳・75歳以上）をご記入ください。

◆計画素案の詳しい内容は、素案冊子をご覧ください。

冊子は金沢区福祉保健課、金沢区社会福祉協議会、金沢区内の地域ケアプラザ、地区センター等で配付しています。

また右記の二次元コード（金沢区ホームページ）からもダウンロードできます。



◆ご提出にあたり、以下の点にご留意ください。

- ・いただいたご意見は今後の計画策定や地域福祉保健施策の参考とさせていただきます。
- ・後日、ご意見を取りまとめたものを金沢区地域福祉保健計画推進委員会へ報告するとともに、ホームページにて公表します。
- ・ご意見に対する個別回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ご意見の提出等に伴い取得した個人情報は適正に管理し、この意見募集以外の目的で利用することはありません。

発行・お問合せ先

横浜市金沢区役所 福祉保健課事業企画担当
■〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 2-9-1
■電話：045-788-7824 ■FAX：045-784-4600
■Eメール：kz-chifukuplan@city.yokohama.lg.jp

社会福祉法人 横浜市金沢区社会福祉協議会
■〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 1-21-5
■電話：045-788-6080 ■FAX：045-784-9011
■Eメール：info@kanazawa-shakyo.jp

令和7年3月発行

金沢区に暮らす誰もが5年後、10年後もずっと安心して健やかに住み続けられるように

あなたのご意見をお聞かせください



【募集期間】

令和7年4月11日（金）～5月16日（金）必着

第5期 金沢区地域福祉保健計画（計画期間：令和8～12年度）

金沢ささえあいプラン

～つながろう・ふみだそう・いきいきと～
(素案・概要版)

～ご意見をお待ちしています～

例えば…

- ◆計画の内容について
 - ・地域の中で「こんな取組があったらいいな」というアイデアやご意見
 - ・素案の中でこの部分が気になった（関心を持った、分かりにくい）
- ◆計画の普及・啓発について
 - ・計画を多くの人に知っていただくためのアイデアやご意見
- ◆ご自身や地域の皆さんで取り組めそうなこと、心がけたいこと

横浜市地域福祉保健計画の
キャラクター ちふくちゃん



金沢区幸せお届け大使
ぼたんちゃん



金沢ささえあいプラン とは

金沢区に暮らす誰もが安心して健やかに住み続けられるまちを目指して、地域の皆さんと関係機関、区役所等が協働しながら取り組むための計画です。

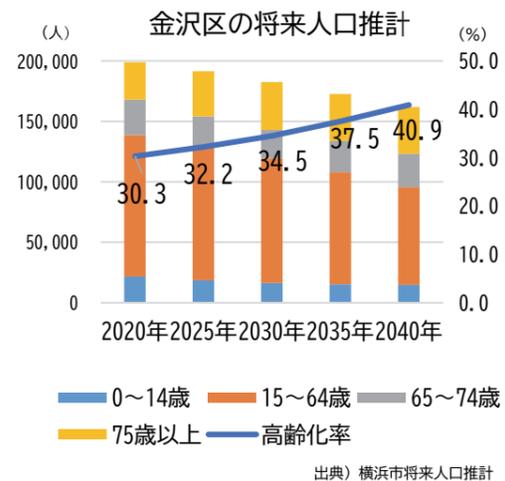
金沢区役所

金沢区社会福祉協議会

Q なぜ計画が必要なの？

金沢区では人口の減少や高齢化、一人暮らしの方の増加、近所付きあいの希薄化等により自分や家族だけでは解決できない課題を抱える方が今まで以上に増えることが予測されています。

誰もが5年後、10年後もずっと安心して住み続けられるように、計画の推進を通じてお互いを気かけ、支えあえる関係を築きながら、助けあいの取組を充実していく必要があります。



Q どのように進めるの？

ささえあいプランは「一人ひとりができること（自助）」「地域みんなが協力してできること（共助）」「区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ等ができること（公助）」を連動させながら、地域におけるつながりを広げ、みんなで支えあいのまちづくりを進めていきます。



多くの人で目指す姿を共有するための「道しるべ」としての意味合いも大きいね！



Q この計画では何をを目指すの？

目指す方向性（基本理念）

誰もが安心して健やかに住み続けられる 支えあいのまちづくり

金沢区の置かれている現状や課題を踏まえて、これまで積み重ねてきた「つながり」や「ささえあい」の活動が更に発展するように3つの推進の柱と、柱ごとに目指すまちの姿を設定しました。

また、取組にあたっては、「情報発信」と「連携」を意識しながら進めていきます。

柱Ⅰ つながろう ～誰もがお互いを尊重し共に支えあう地域へ～

柱Ⅱ ふみだそう ～誰もが活躍できる場やきっかけが広がる～

柱Ⅲ いきいきと ～みんなで健康づくりに取り組みいきいきとしたまちへ～



柱に対する金沢区の目指す姿は右側のページを見てね

こんな金沢区になったらいいな

柱Ⅰ：つながろう



- 様々な人が交流できる機会が増え、近所でのあいさつ・声かけによるつながりが広がっている
- あらゆる年齢、性別、障害、国籍等、様々な立場・背景にある方とつながりや交流を通じてお互いを知り、理解や認めあいが広がっている
- 日常生活の中でお互いを気にかけてあい、多様な見守りやささえあいの輪が広がっている



主な取組：隣近所とのあいさつ、交流の場づくり（サロン、お祭り等）、身近な地域の見守り等

柱Ⅱ：ふみだそう



- 地域活動やボランティア活動に参加する人が増えている
- 個人・団体・地域が、お互いの立場や考え方、気持ちを理解しあうことで活動が広がっている
- 多くの人がそれぞれにできることに取り組み、活動を支援する仕組みを活用することで活動しやすい地域になっている



主な取組：活動をはじめのきっかけづくり、活躍の場づくり、地域活動の役割分担等

柱Ⅲ：いきいきと



- 様々な媒体や機会を通じて健康づくりに役立つ情報が提供されている
- 誰もが自分らしい生活を送るために自分ができることに取り組んでいる
- 身近な地域の中で、つながりを通じた健康づくりの場や機会が充実している



主な取組：身近な公園や施設での体操・運動、スポーツイベント、健診の受診等